

消 防 年 報

平成 2 4 年 版



平成25年消防出初式（日ノ出橋より一斉放水）

い ち き 串 木 野 市 消 防 本 部

（平成 2 5 年 刊 行）

は　じ　め　に

この年報は、いちき串木野市消防本部の現況及び平成24年度における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介し、理解と協力を得るため編集したものであります。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に関する事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表してあります。

平成25年　6月

いちき串木野市消防本部

目 次

I 総 括

1	いちき串木野市のあらまし	1
2	市域の変遷	2
3	消防の沿革	2
4	歴代消防長	
(1)	旧串木野市消防本部	9
(2)	いちき串木野市消防本部	9
5	歴代消防団長	
(1)	旧串木野市	1 0
(2)	旧市来町	1 0
(3)	いちき串木野市	1 0

II 総 務

1	消防の組織	1 1
2	消防本部・消防署・分遣所の事務分掌	1 2
3	いちき串木野市消防現勢分布図	1 4
4	消防庁舎・分遣所・詰所（車庫含む。）の状況	
(1)	消防本部（署）・分遣所	1 5
(2)	消防団	1 5
5	平成 2 4 年度の主な行事	1 6
6	消防予算	
(1)	平成 2 4 ・ 2 5 年度消防予算	1 7
(2)	市総予算と消防予算	1 8
(3)	消防予算と人口・世帯数との比較	1 8
7	人事・教養	
(1)	消防職員の配置状況	1 9
(2)	消防職員の年齢	1 9
(3)	消防職員の勤続年数	2 0
(4)	消防職員研修状況	2 0
8	消防団	
(1)	消防分団所轄区域、定員及び幹部名	2 1
(2)	消防団員の勤続年数	2 2
(3)	消防団員の年齢	2 2

(4) 消防団員出場状況表	2 3
(5) 消防団員の報酬等	2 3
9 いちき串木野市消防連合後援会	2 4
1 0 表 彰	2 4

Ⅲ 予防・危険物

1 防火対象物の状況	2 5
2 防火対象物階層別状況（4階以上・棟数）	2 6
3 建築同意事務等処理状況	
(1) 建築同意状況	2 7
(2) 専用住宅建築確認通知状況	2 7
4 消防用設備等設置検査実施状況	2 7
5 消防法関係届出状況	2 8
6 火災予防条例関係届出状況	2 9
7 防火啓発状況	3 0
8 危険物施設の状況	3 0
9 危険物関係許可・検査処理状況	3 1
1 0 危険物施設の立入検査状況	3 1
1 1 液化石油ガス等の保安指導状況	3 2
1 2 串木野国家石油備蓄基地の概要及び現況	3 3
1 3 消防協力団体の結成状況	
(1) いちき串木野市幼少年婦人防火委員会	3 6
(2) 幼年消防クラブ	3 6
(3) 婦人防火クラブ	3 6
(4) 防火管理協会	3 7
(5) 危険物安全協会	3 7

Ⅳ 火災・救急・救助

1 平成24年中の火災発生状況	3 8
2 火災統計	
(1) 平成24年中の火災状況	3 9
(2) 過去5年間の年別火災概要	4 0
(3) 過去5年間の原因別火災発生件数	4 0
(4) 過去5年間の月別火災発生件数	4 1
(5) 過去5年間の曜日別火災発生件数	4 1
(6) 過去5年間の時刻別火災発生件数	4 2

(7) 火災発生時の気象状況	4 3
3 救急業務統計	
(1) 救急業務の沿革	4 4
(2) 救急業務取扱状況	4 5
(3) 傷病程度別搬送状況	4 5
(4) 診療科目別搬送状況	4 6
(5) 搬送別状況	4 6
(6) 覚知別出場状況	4 6
(7) 居住地別搬送状況	4 6
(8) 救急救命処置実施状況	4 6
(9) 月別救急出場状況及び搬送人員の状況	4 7
(10) 曜日別救急出場状況	4 8
(11) 現場到着所要時間別出場件数	4 8
(12) 収容所要時間別搬送人員	4 8
(13) 時間別出場状況（急病件数及び総件数）	4 9
(14) 市別搬送状況（搬送先）	4 9
(15) 救急出場件数の推移	5 0
(16) 過去5年間の救急出場状況	5 0
(17) 年齢別搬送人員状況	5 1
(18) 各比率	5 1
4 救助業務統計	
(1) 救助出動状況	5 2
(2) 過去5年間の救助出動状況	5 2
5 応援協定等の締結状況	5 3

V 機械・水利

1 基準消防力と現有消防力との比較	
(1) 消防本部（署）	5 4
(2) 消防団	5 4
(3) 消防職・団員と市民との割合	5 4
2 消防機械器具及び水利状況	
(1) 消防署の消防車両状況	5 5
(2) 消防団の消防車両及び小型ポンプの状況	
ア 串木野地域	5 6
イ 市来地域	5 7
(3) 署・各分団ポンプ及びホース保有状況	5 8

(4) 消防資機材の保有状況	5 9
(5) 消火薬剤等の保有状況	6 0
(6) 原子力防災資機材の保有状況	6 0
(7) 消防水利の状況（消防水利の基準に適合しないものも含む。）	
ア 串木野地域	6 1
イ 市来地域	6 2
(8) 消防無線の状況	
ア 消防本部	6 3
イ 消防団	6 4

VI 気 象

1 気象観測の状況	6 5
2 風向の状況	6 6
3 各地の降水量（防災テレメーターによる。）	6 6

I 総 括

面 積 1 1 2 . 0 4 km²

人 口 3 0 , 2 8 8 人

世 帯 数 1 3 , 4 4 2 世帯

(平成25年4月1日現在)

1 いちき串木野市のあらまし

いちき串木野市は、平成 17 年 10 月 11 日、旧串木野市と旧日置郡市来町が合併して誕生した新しい市である。

本市は、薩摩半島の北西部にあり西は東シナ海に面し、日本三大砂丘のひとつである吹上浜の北端に位置している。北東側には、標高 516 メートルの徐福伝説のある霊峰冠岳及び 519 メートルの弁財天を最高に数々の分峰が連なり、北は薩摩川内市と接し、南は大里平野と小丘をもって日置市に接している。また、東シナ海に面した良港に恵まれ、近海・遠洋漁業が盛んに行われ「マグロのまち串木野」として知名度が高い。

本市には、今から 4000 年～3000 年前（縄文時代後期中ごろ）から既に人が住みつき、土器を使用し海と関わり、陸地で植物を栽培する生活をしていたことが実証されている。その証として、市来川上貝塚の発見研究により、市来式土器と呼ばれる様式の土器などが多数発掘され、その時代から海と陸の関わりある生活を営んでいたことがうかがわれ、時代とともに集落などの形を変え現在に至っている。

市来湊町では、今から約 400 年前、島津義弘の朝鮮役での活躍を祝って踊られた国指定の重要無形民族文化財の「七夕踊り」や約 200 年前、商港、宿場町として栄えたころ、京都の祇園祭に似せて行われたという「祇園祭」など、その昔からの芸能を現在も引き継いできており、海を介して経済、文化などに影響がもたらされている。

江戸時代末期（1865 年）には、薩摩藩の命により我が国初の海外留学生一行 19 名が、ヨーロッパへ向けて密かに出航し、初代文部大臣森有礼らなど近代日本の幕開けの原動力となった若き薩摩の志士一行が出航した黎明の地が羽島である。

平成 6 年に完成した串木野国家石油備蓄基地は、西薩町から荒川地内にかけて地下の岩盤内にトンネル 10 本を掘削し、我が国で消費される 3 日分に相当する 169 万キロリットルの原油を国の政策に基づき、常圧貯蔵横穴水封固定水床式で備蓄している。

このように本市は、昔から海との関わりが深く、様々な恵みをもたらす海を背景に焼酎・つけあげ・柑橘類などの地元産品、近年ではまぐろラーメン・ポンカレーなど食に関する知名度も向上し、様々な特色のある資源を有しており、現在、港湾施設や臨海部の整備を進めるとともに、企業誘致を図り、串木野新港を主に中国・東南アジア等との国際交易圏づくりをめざしている。

また、南九州西回り自動車道の整備や内陸部の開発などにより、本市を取り巻く交通・物流体系が一段と整備され、活発化している。

古い歴史と伝統のあるまち、白砂青松の吹上浜、山と緑の美しい環境の新しいいちき串木野市は、新市の基本理念として、「ひとが輝く 地域が輝く～地域ブランドによる自立したすこやかな都市の創造～」を設定し、「ひとが輝き 文化の薫る 世界に拓かれたまち」を将来の都市像に掲げ、新しいいちき串木野市の創造に向けて努力しているところである。

2 市域の変遷

年 月 日	事 項	面 積 (km ²)	人 口			世 帯 数
			計	男	女	
明治 22. 4. 1	冠岳村、上名村、下名村、荒川村、羽島村の 5 ケ村が合併して串木野村となる。	79.60	—	—	—	
明治 22. 4. 1	湊村、大里村、川上村が合併して、市来村となる。					
昭和 5. 4. 1	町制施行（市来町）					
昭和 10. 4. 1	町制施行（串木野町）	79.60	24,637	11,727	12,910	5,501
昭和 25. 10. 1	市制施行（串木野市）	79.60	33,884	16,483	17,401	7,182
平成 17. 10. 11	串木野市、市来町の 1 市 1 町で合併して、いちき串木野市となる。	112.02	33,087	15,516	17,571	13,601

3 消防の沿革

明治 36 年 12 月	○串木野村消防組創立
大正 5 年 9 月	○腕用ポンプ購入
大正 5 年	○市来村湊町に公設消防組を組織（他の地域は、私設消防組を組織）
大正 9 年	○青年団により私設の島内消防組を組織（鳶口 10 丁、水汲み用木製ツルベ 10 個、梯子 1 つを配備）
昭和 6 年 10 月	○行幸記念事業で手引ガソリンポンプ購入
昭和 9 年 5 月	○消防ポンプ自動車（フォード）購入
6 月	○優良消防組として県知事表彰を受ける。
昭和 10 年 4 月	○町制施行により串木野町消防組に改称
昭和 14 年 4 月	○内務省令により串木野町警防団（7 分団）に改称
	○市来町警防団を結成（4 分団）
昭和 20 年 6 月	○中央分団地区から本浦地区を分離し、水上分団を設立
昭和 22 年 8 月	○警防団の組織を串木野町消防団（8 分団）、市来町警防団（4 分団）として改編
昭和 23 年 5 月	○串木野町消防団常備部発足（部員 12 名、消防車〔フォード〕1 台）
9 月	○電話器が常備詰所に設置される。
昭和 25 年 8 月	○優良消防団として消防庁長官表彰を受ける。
10 月	○市制施行により串木野市消防団と改称
昭和 26 年 4 月	○常備部団員定員 14 名となる。（2 名増員）
昭和 29 年 1 月	○常備部詰所を浜田通りロータリー南西角に移転（現在の旭町 1 番地）
3 月	○常備部に消防ポンプ自動車（日産）を購入
4 月	○串木野市消防本部・消防署設置（職員数 15 名）
	初代消防長 大園純夫就任
10 月	○消防職員 1 名退職 1 名採用（実員 15 名）
昭和 30 年 6 月	○中央分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入し、運搬車を照島分団に配置替
8 月	○水上分団及び照島分団に小型動力ポンプ（ラビット）を購入
9 月	○消防団定数条例改正 237 名となる。
	○水上分団を本浦分団に改称
昭和 31 年 5 月	○消防職員 1 名退職 1 名採用（実員 15 名）
昭和 31 年 10 月～ 昭和 32 年 10 月	○生福、旭、羽島、荒川、冠岳、中央の各分団に小型動力ポンプ、本浦分団に運搬車を購入
昭和 33 年 4 月	○消防団定数条例改正 227 名となる。

6月	○消防職員1名退職1名採用（実員15名）
11月	○第1回串木野市消防操法技能競技大会を実施
昭和34年 6月	○消防職員1名退職1名採用（実員15名）
昭和34年 7月～	○照島分団に運搬車、本浦・照島分団に小型動力ポンプ、消防署に水槽付ポンプ自動車を購入
昭和35年10月	
昭和36年 4月	○消防職員1名採用（実員16名）
5月	○消防職員1名退職1名採用（実員16名）
9月	○串木野警察署と「災害救助に関する協定」を締結
昭和37年 4月	○中央分団に運搬車、照島分団別府班に小型動力ポンプを購入
昭和38年11月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入し、運搬車を旭分団に配置替
昭和39年 2月	○本浦分団及び照島分団別府班のポンプ庫を新築
5月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入
昭和40年 4月	○消防職員1名採用（実員17名）
7月	○消防団定数条例改正 204名となる。 ○串木野局の電話自動化により119番の専用線を開設
9月	○消防職員1名市役所へ転出（実員16名）
昭和41年 2月	○日本消防協会より、消防団表彰旗を授与される。
4月	○消防職員1名採用（実員17名）
7月	○第2代消防長 大久保重雄就任 ○消防職員1名市役所へ転出1名転入（実員17名）
11月	○消防署に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入し、昭和29年3月購入の消防ポンプ自動車（日産）を羽島分団に配置替
昭和42年 1月	○羽島分団の車庫を羽島5，237番地に新築
7月	○消防職員1名市役所から転入（実員18名） ○市来町・東市来町との消防相互応援協定を締結
8月	○中央分団に小型動力ポンプを購入 ○消防団定数条例改正 210名となる。
9月	○消防職員1名採用（実員19名）
昭和43年 2月	○消防署に救急自動車（日産セドリック）を購入、任意で救急業務を開始
3月	○消防職員1名採用（実員20名）
5月	○川内市と消防相互応援協定を締結
12月	○生福分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入
昭和44年 3月	○消防無線局を開設
4月	○消防職員1名市役所から転入（実員21名）
8月	○消防職員1名市役所へ転出（実員20名）
11月	○照島分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（運搬車を廃車）
12月	○市来町・東市来町との救急業務応援協定を締結
昭和45年 1月	○消防職員1名採用（実員21名）
4月・5月	○川内市と救急業務相互応援協定、里村・上甕村と救急業務応援協定を締結
6月	○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」を締結
昭和46年 3月	○旭分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（運搬車を廃車）
6月	○消防法施行令の一部改正により本市の救急業務実施が義務化
7月・8月	○樋脇町と消防相互応援協定並びに救急業務応援協定、下甕村と救急業務応援協定を締結
9月	○消防職員1名採用（実員22名）
10月	○第3代消防長 入江 森就任
昭和46年10月	○消防職員1名市役所へ転出（実員21名）

	1 1 月	○消防職員 1 名採用（実員 2 2 名）
		○中央分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（更新）
昭和 4 7 年	2 月	○市合同庁舎が昭和通 1 3 3 番地 1 に新築され、消防本部・署も移転
		○中央分団の車庫詰所を旭町 1 番地 2 に新築
	3 月	○優良消防機関（署・団）として消防庁長官表彰を受ける。
	8 月	○荒川分団の車庫詰所を荒川 2, 3 4 7 番地に新築
	1 2 月	○冠岳分団の車庫詰所を冠岳 1 2, 9 8 4 番地 2 に新築
		○冠岳分団に消防ポンプ自動車（日産）、羽島分団に小型動力ポンプを購入
昭和 4 8 年	2 月	○鹿島村と救急業務応援協定を締結
	3 月	○生命保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	7 月	○日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署に配置
		○消防職員 1 名採用（実員 2 3 名）
	9 月	○消防職員 1 名採用（実員 2 4 名）
	1 1 月	○荒川分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入
		○旭分団の車庫詰所を下名 1 4, 1 0 5 番地に新築
昭和 4 9 年	4 月	○消防職員 1 名退職 1 名採用（実員 2 4 名）
	1 1 月	○羽島地区の電話自動化により 1 1 9 番専用線を開設
	1 2 月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
昭和 5 0 年	9 月	○照島分団の車庫詰所を下名 7, 5 7 4 番地 1 に新築
	1 0 月	○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
	1 2 月	○中央分団に運搬車（トヨタ）を購入（更新）
昭和 5 1 年	4 月	○羽島分団の車庫に隣接して詰所を新築
	6 月	○消防団本部に赤バイ（ヤマハ 2 5 0 cc）を購入
	7 月	○本浦分団及び生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	1 0 月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
		○市来町消防団役場分団結成 日本消防協会から可搬動力ポンプ積載車の寄贈及び松下町長の命を受け、 17 名で発足する。
	1 2 月	○職員定数条例改正 2 6 名となる。
昭和 5 2 年	4 月	○消防職員 1 名退職 3 名採用（実員 2 6 名）
	9 月	○日本消防協会から救急自動車の寄贈を受ける。 ○旭、照島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
昭和 5 3 年	3 月	○職員定数条例改正 2 8 名となる。
	4 月	○消防職員 2 名採用（実員 2 8 名）
	5 月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	7 月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入（更新）
	1 0 月	○日本防火協会から広報車の寄贈を受ける。
昭和 5 4 年	3 月	○羽島分団土川班のポンプ庫詰所を羽島 9, 6 7 5 番地に新築
	4 月	○消防職員 2 名採用（実員 3 0 名）
	5 月	○消防職員 1 名退職（実員 2 9 名）
	6 月	○照島分団及び照島分団別府班に小型動力ポンプを購入（更新）
	8 月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	9 月	○荒川分団の小型動力ポンプ（5 3 年 5 月購入分）を旭分団に配置替
	1 1 月	○消防署に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新） ○本浦分団の車庫詰所を西浜町 1 番地に新築
	1 2 月	○消防職員 1 名退職（実員 2 8 名）
昭和 5 5 年	1 月	○第 4 代消防長 軍神 計就任

昭和55年	6月	○中央分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	7月	○冠岳分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	12月	○生福分団の車庫詰所を上名9, 129番地に新築
昭和56年	2月	○消防職員1名退職（実員27名） ○日本自動車工業会から救急車の寄贈を受ける。
	4月	○消防職員2名採用（実員29名）
	5月	○川内地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結（川内市との従前の協定を破棄）
	8月	○第1回串木野市消防団規律訓練大会を実施
昭和57年	3月	○消防職員1名退職（実員28名） ○甕島4村及び樋脇町との救急業務応援協定を破棄
	10月	○日置地区消防組合と「消防・救急業務応援協定」を締結（市来町・東市来町との従前の協定を破棄）
	11月	○生福分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
昭和58年	12月	○照島分団別府班のポンプ庫詰所を下名3, 362番地2に新築
昭和59年	2月	○消防本部・署の庁舎を昭和通133番地1に新築し移転
	4月	○指宿地区消防組合と「消防無線使用時の混信に関する協定」を締結
	11月	○照島分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
昭和60年	3月	○第5代消防長 植屋一郎就任 ○消防職員1名市役所へ転出（実員27名）
	4月	○消防職員1名採用（実員28名） ○串木野ライオンズクラブから指揮連絡車（日産）の寄贈を受け、消防署に配置
	10月	○中央分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
昭和61年	10月	○消防職員条例定数改正 31名となる。 ○羽島分団土川班に小型動力ポンプ積載車（トヨタ）を購入
	12月	○市来町・樋脇町と「消防相互応援協定」を締結 ○川南分団に消防ポンプ自動車を購入（更新）
昭和62年	3月	○消防職員1名退職（実員27名）
	4月	○消防職員4名採用（実員31名）
	10月	○消防署に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
	12月	○川上分団に消防ポンプ自動車を購入（更新）
昭和63年	12月	○旭分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
平成元年	2月	○消防署に救急車（トヨタ）を購入（更新）
	3月	○消防職員1名退職（実員30名）
	4月	○消防職員1名採用（実員31名）
	10月	○消防職員条例定数改正 34名となる。 ○冠岳分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
平成2年	1月	○コアガス鹿児島㈱から救急車（トヨタ）の寄贈を受ける。
	3月	○昭和56年に日本自動車工業会から寄贈された救急車を運搬車に改造し、照島分団別府班に配置
	4月	○消防職員3名採用（実員34名）
	10月	○消防職員条例定数改正 38名となる。 ○消防署にはしご付消防自動車（24m級）を購入 ○荒川分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
平成3年	3月	○串木野市消防団条例の全部改正
平成3年	4月	○消防職員2名採用（実員36名）
平成3年	9月	○消防職員1名採用（実員37名）

平成 4 年	1 月	○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
	3 月	○鹿児島県消防相互応援協定締結
	4 月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
	8 月	○消防職員 1 名市役所へ異動（実員 3 6 名）
		○日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車（いすず）の寄贈を受け、中央分団に配置
	1 0 月	○石油コンビナート等特別防災区域指定
		○本浦分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
		○消防庁舎の車庫、倉庫を増改築
	1 1 月	○消防職員 1 名退職（実員 3 5 名）
		○昭和 5 0 年に購入した中央分団の運搬車を消防署に配置替
	1 2 月	○消防署に化学消防ポンプ自動車（三菱）を購入
平成 5 年	3 月	○消防職員 1 名退職（実員 3 4 名）
		○中央分団の車庫詰所を旭町 1 番地 2 に中央地区コミュニティ消防センターとして新築
	4 月	○第 6 代消防長 俣木一幸就任
		○消防職員 3 名採用（実員 3 7 名）
	1 0 月	○役場分団に小型動力ポンプ積載車を購入（更新）
平成 6 年	3 月	○荒川分団の車庫詰所を荒川 2, 4 5 0 番地に新築
		○消防職員 1 名退職（実員 3 6 名）
	4 月	○消防職員 1 名採用（実員 3 7 名）
	8 月	○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」の一部改正
	1 0 月	○鹿児島県消防相互応援協定の一部改正
	1 2 月	○照島分団別府班に小型動力ポンプ積載車（トヨタ）を購入（更新）
平成 7 年	2 月	○旭分団の車庫詰所を下名 1 4, 1 0 3 番地 1 5 に旭地区コミュニティ消防センターとして新築
	3 月	○冠岳分団の車庫詰所を冠岳 1 2, 9 8 4 番地 2 に冠岳地区コミュニティ消防センターとして新築
		○消防職員 1 名退職（実員 3 6 名）
	4 月	○消防職員 1 名市役所へ異動
		○第 7 代消防長 尾崎正躬就任
		○消防職員 2 名採用（実員 3 8 名）
平成 8 年	3 月	○照島分団の車庫詰所を東島平町 4 1 7 番地 1 に照島地区コミュニティ消防センターとして新築
	4 月	○団本部に指揮連絡車（トヨタ）を購入
		○消防職員 1 名市役所へ異動
		○消防職員 1 名採用（実員 3 8 名）
	8 月	○日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け消防署に配置
	1 1 月	○生福分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
		○昭和 5 7 年に購入した生福分団の消防ポンプ自動車を消防署に運搬車として配置換え
		○本浦分団、生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
平成 9 年	1 月	○消防署に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
	3 月	○羽島分団の車庫詰所を羽島 5, 2 1 8 番地に羽島コミュニティ消防センターとして新築
		○消防職員 1 名退職（実員 3 7 名）
平成 9 年	4 月	○第 8 代消防長 植ノ原敬一就任

	9月	○消防職員1名採用（実員38名）
	11月	○日本地下石油備蓄㈱串木野事業所と応援協定を締結
	12月	○中央仮設株式会社から指揮広報車の寄贈を受け消防署に配置
平成10年	1月	○湊・川北分団に消防ポンプ自動車を購入（更新）
	2月	○羽島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	3月	○旭分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	4月	○消防職員1名退職（実員37名）
		○川内地区消防組合と「携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定」を締結
	8月	○日本消防協会から軽可搬ポンプ付軽積載車の寄贈を受ける。
	12月	○照島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
平成11年	3月	○消防職員1名退職（実員36名）
	4月	○第9代消防長 橋之口博繁就任
		○消防職員1名採用（実員38名）
平成12年	3月	○串木野市医師会と「救急救命士に対する医師の指示に関する協定」を締結
		○本浦分団車庫詰所を西浜町1番地2に本浦地区コミュニティ消防センターとして新築（平成11年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11月	○消防署に小型動力ポンプ付積載車を購入（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		○高規格救急自動車を購入し、平成13年1月1日運用開始（平成12年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		○気象情報収集装置を整備（平成12年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		○鹿児島県より原子力防災資機材として軽トラック（運搬車）の貸与を受け、消防署に配置
	12月	
平成13年	3月	○消防職員1名退職（実員37名）
	4月	○第10代消防長 平石耕二就任
		○消防署に救急車（トヨタ）を購入（更新）
		○荒川、旭、冠岳分団に小型動力ポンプ（B3級）を購入（平成13年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	12月	
平成14年	9月	○旭分団芹ヶ野ポンプ庫撤去
	12月	○川西薩地区法定合併協議会（2市4町3村）が設置され、消防本部は消防防災分科会を担当
		○消防職員1名市役所へ異動
平成15年	4月	○第11代消防長 福藺照雄就任
		○消防職員1名採用（実員38名）
		○串木野市は川西薩地区法定合併協議会を離脱
		○川南・川上分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	7月	○串木野・市来合併協議会が設置され、消防本部は消防防災分科会を担当
	10月	○生福地区コミュニティ消防センターの建設用地を購入
	12月	（上名6, 660番1外2筆・面積452.33㎡） （平成15年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成16年	4月	○串木野市消防本部の組織等に関する規則の一部改正 「施設装備係」を「救急救助係」に改めるとともに、消防本部の事務分掌も一部改めた。
	10月	○湊・川北分団に小型動力ポンプを購入（更新）
平成17年	2月	○日置地区消防組合と「川内道路における消防相互応援協定」を締結
平成17年	3月	○国土交通省鹿児島国道事務所・県警察本部交通部高速道路交通警察隊・日置地

		区消防組合と「南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定」を締結（３月１３日 串木野・市来区間開通） ○生福分団の車庫詰所を上名６，６６０番地１に生福地区コミュニティ消防センターとして新築（平成１６年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○本浦分団、照島分団、生福分団に小型動力ポンプ（Ｂ３級）を購入（平成１６年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○簡易地図検索装置を整備（平成１６年度緊急地域雇用創出特別基金事業及び原子力防災資機材） ○消防職員１名退職（実員３７名） ○第１２代消防長 野田 豊就任
平成１８年	４月 １０月	○市町村合併（串木野市と市来町）により新市「いちき串木野市」誕生 ○いちき串木野市消防本部・消防署・いちき分遣所発足 ○初代消防長 野田 豊就任 ○職員８名（日置地区消防組合職員３名・旧串木野市役所職員１名・旧市来町役場職員４名）が転任、実員４５名となる。いちき分遣所に１２名を配置する。 ○串木野市消防団と市来町消防団は、合併により１団を形成し、「いちき串木野市消防団」となる。（団長１名、副団長４名、１３分団、定数２９９名） ○救急３号車運用開始
	平成１８年 ３月	○中央・照島分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）（平成１７年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○消防職員２名退職（実員４３名）
	４月	○第２代消防長 内屋照男就任 ○消防職員５名採用（実員４８名）
	平成１８年 １２月	○高規格救急車（日産）を購入し、１２月２３日運用開始（いちき分遣所配置換え）（平成１８年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成１９年	平成１９年 ３月	○消防署に消防ポンプ自動車（日野・ＣＤ－Ｉ型）を購入（更新）（平成１８年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○消防職員１名退職（実員４７名）
	平成１９年 １１月	○中央分団に小型ポンプ（Ｂ－３級）を購入（更新）（平成１９年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成２０年	平成２０年 ３月	○川南分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）（平成１９年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○羽島分団に小型動力ポンプ付積載車（日産）を購入（更新）（平成１９年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○消防職員１名退職（実員４６名）
	平成２０年 ４月	○消防職員２名採用（消防吏員１名、その他職員１名）（実員４８名）
平成２１年	平成２１年 １月	○川上分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）（平成２０年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	平成２１年 ４月	○消防本部・消防署の組織再編を行う。 ○救急救助係の救助業務を警防係に移管し救急係とする。
平成２２年	平成２２年 １月 平成２２年 ２月 平成２２年 ３月	○日本消防協会から防災活動車（日産）の寄贈を受け、消防署に配置 ○日置市消防本部から水槽付消防ポンプ自動車（日野）の譲渡を受け、消防署に配置 ○旭分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）（平成２１年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○消防職員２名退職（実員４６名）
平成２２年	平成２２年 ４月	○消防職員２名採用（実員４８名）※その他職員から消防吏員に転任（１名）

平成23年	6月	○第3代消防長 池田 豊 就任
	2月	○消防職員1名退職（実員47名）
		○鹿児島県消防学校から救助工作車（三菱）の譲渡を受け、消防署に配置
		○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野・水-II型）を購入（更新） （平成22年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4月	○消防職員1名採用（実員48名）
平成24年	9月	○消防職員1名退職（実員47名）
	2月	○消防署に高規格救急車（日産）を購入（更新）
	3月	○消防職員1名退職（実員46名）
	4月	○第4代消防長 深山龍朗 就任
		○消防職員1名採用（実員48名）
平成25年	1月	○消防署に高規格救急車（トヨタ）を購入（更新）
	4月	○消防職員1名市役所へ出向 市役所職員1名消防本部に事務職員として出向（実員48名）

4 歴代消防長

（1）旧串木野市消防本部

代	就 任 年 月	退 任 年 月	氏 名
初 代	昭和29年 4月	昭和41年 6月	大 園 純 夫
第 2 代	昭和41年 7月	昭和46年 9月	大 久 保 重 雄
第 3 代	昭和46年10月	昭和54年12月	入 江 森
第 4 代	昭和55年 1月	昭和60年 3月	軍 神 計
第 5 代	昭和60年 3月	平成 5年 3月	植 屋 一 郎
第 6 代	平成 5年 4月	平成 7年 3月	俣 木 一 幸
第 7 代	平成 7年 4月	平成 9年 3月	尾 崎 正 躬
第 8 代	平成 9年 4月	平成11年 3月	植 ノ 原 敬 一
第 9 代	平成11年 4月	平成13年 3月	橋 之 口 博 繁
第10代	平成13年 4月	平成15年 3月	平 石 耕 二
第11代	平成15年 4月	平成17年 3月	福 蘭 照 雄
第12代	平成17年 4月	平成17年10月	野 田 豊

（2）いちき串木野市消防本部

代	就 任 年 月	退 任 年 月	氏 名
初 代	平成17年10月	平成18年 3月	野 田 豊
第 2 代	平成18年 4月	平成22年 3月	内 屋 照 男
第 3 代	平成22年 4月	平成24年 3月	池 田 豊
第 4 代	平成24年 4月	現 在	深 山 龍 朗

5 歴代消防団長

(1) 旧串木野市

	代	就 任 年 月	退 任 年 月	氏 名
消 防 組	初 代	明治36年12月	明治44年 5月	中 尾 浅 助
	第 2 代	明治44年 6月	大正 5年 7月	江 藤 千 代 蔵
	第 3 代	大正 5年 7月	大正 5年11月	松 元 幸 助
	第 4 代	大正 5年11月	大正11年 6月	折 田 金 次 郎
	第 5 代	大正11年 6月	昭和 5年10月	池 田 良 之 助
	第 6 代	昭和 5年10月	昭和14年 3月	江 藤 千 代 蔵
警 防 団	第 7 代	昭和14年 4月	昭和14年 9月	田 尻 森 吉 (町長兼務)
	第 8 代	昭和14年10月	昭和19年 4月	江 藤 千 代 蔵
	第 9 代	昭和19年 4月	昭和22年 7月	花 牟 禮 武 夫
消 防 団	第10代	昭和22年 8月	昭和26年 8月	富 宿 與 助
	第11代	昭和26年 8月	昭和30年 7月	福 山 盛 吉
	第12代	昭和30年 8月	昭和37年 3月	富 宿 與 助
	第13代	昭和37年 4月	昭和43年 3月	須 崎 異
	第14代	昭和43年 4月	昭和47年 3月	寺 師 彦 好
	第15代	昭和47年 4月	昭和63年 3月	益 満 利 幸
	第16代	昭和63年 4月	平成16年 3月	網 屋 長 行
	第17代	平成16年 4月	平成17年10月	岡 田 正 治

(2) 旧市来町 (※ 昭和14年4月に警防団を結成、初代団長は井上新吉でその他については、不明)

	代	就 任 年 月	退 任 年 月	氏 名
消 防 団	初 代	昭和22年 8月	昭和52年 4月	田 崎 勇 蔵
	第 2 代	昭和52年 5月	昭和57年 6月	白 石 久 治
	第 3 代	昭和57年 6月	昭和59年 4月	久 木 藺 耕 平
	第 4 代	昭和59年 5月	平成 3年 9月	西 ノ 園 厚 志
	第 5 代	平成 3年10月	平成 5年 3月	前 田 二 夫
	第 6 代	平成 5年 4月	平成 9年 3月	新 村 明
	第 7 代	平成 9年 4月	平成17年10月	山 元 幸 夫

(3) いちき串木野市

代	就 任 年 月	退 任 年 月	氏 名
初 代	平成17年10月	平成25年 3月	岡 田 正 治
第 2 代	平成25年 4月	現 在	井 手 迫 正 昭

Ⅱ 総 務

消防組織 1本部 1署 1分遣所 1団（12分団）

消防職員 48名（平均年齢 41.8歳）

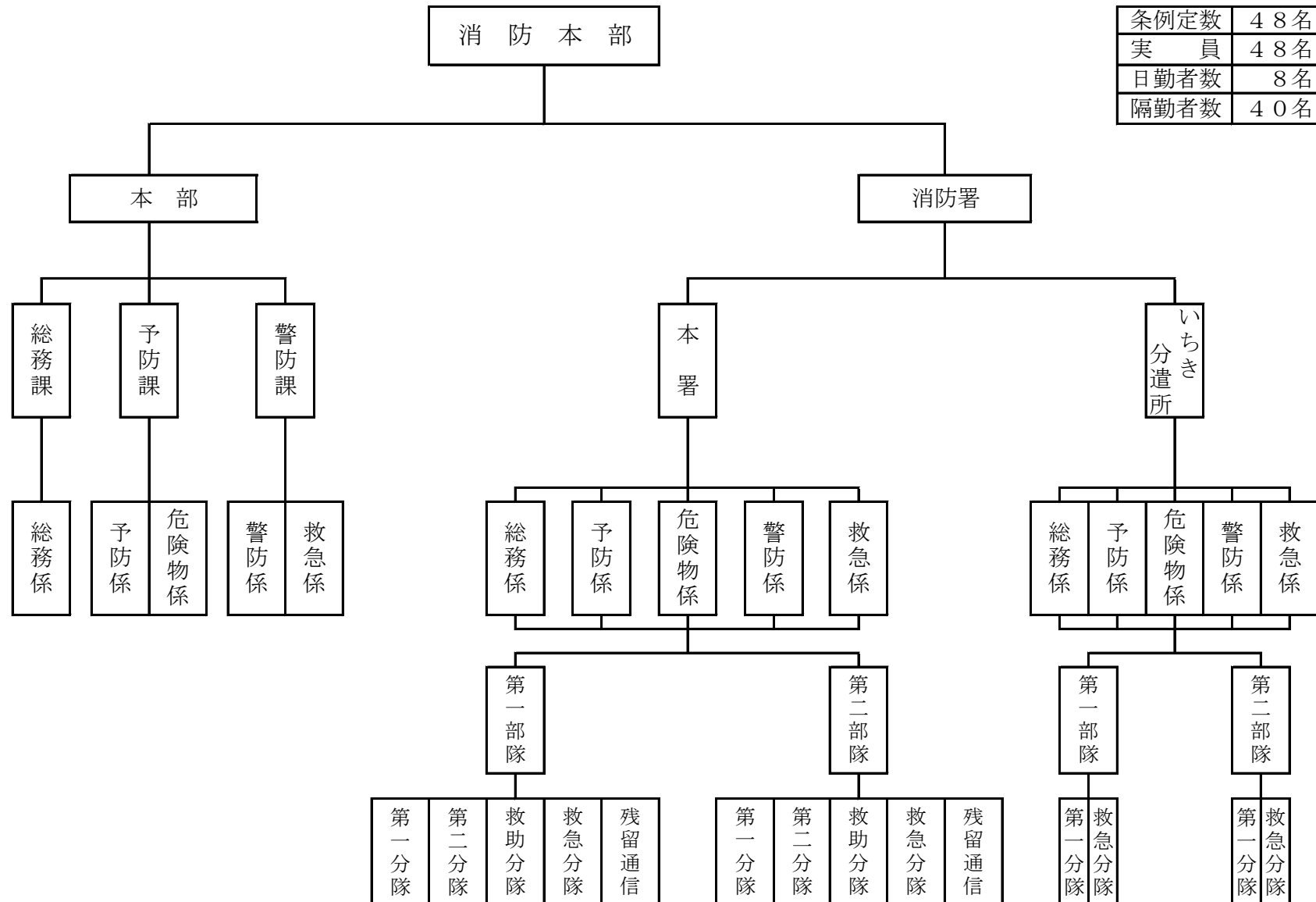
消防団員 277名（平均年齢 47.4歳）

平成25年度消防予算 520,324千円

（住民1人当り 17,179円）

いちき串木野市消防本部・消防署の組織

平成25年4月1日現在



条例定数	48名
実員	48名
日勤者数	8名
隔勤者数	40名

2 消防本部・消防署・分遣所の事務分掌

<消防本部>

【総務課】

○ 総務係

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| (1) 職員の人事及び組織に関すること。 | (12) 職場及び職員の安全管理並びに衛生管理に関すること。 |
| (2) 職員の服務に関すること。 | (13) 職員の教養、研修等の総括に関すること。 |
| (3) 職員の階級、任免、分限及び懲戒に関すること。 | (14) 情報公開に関すること。 |
| (4) 公務災害補償及び消防賞じゅつ金に関すること。 | (15) 消防年報及び消防統計に関すること。 |
| (5) 予算の編成及び執行に関すること。 | (16) 消防表彰に関すること。 |
| (6) 物品の購入、保管及び処分に関すること。 | (17) 職員及び団員の福利厚生に関すること。 |
| (7) 職員及び団員の被服及び貸与品に関すること。 | (18) 会議及び儀式に関すること。 |
| (8) 公有財産に関すること。 | (19) 消防協会及び消防学校に関すること。 |
| (9) 公印の保管に関すること。 | (20) 消防職員委員会に関すること。 |
| (10) 文書の受発、編さん及び保存に関すること。 | (21) 消防手数料等の収納に関すること。 |
| (11) 条例、規則、規程等の制定及び改廃に関すること。 | (22) 消防長会に関すること。 |
| | (23) 消防連合後援会に関すること。 |
| | (24) 消防団員互助会に関すること。 |
| | (25) 消防団事務に関すること。 |
| | (26) 他の係に属さないこと。 |

【予防課】

○ 予防係

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| (1) 火災予防の企画に関すること。 | (6) 防火管理者の指導及び育成に関すること。 |
| (2) 火災予防査察に関すること。 | (7) 防火管理協会及び幼少年婦人防火委員会に関すること。 |
| (3) 建築同意事務に関すること。 | (8) その他火災予防に関すること。 |
| (4) 消防用設備等に係る検査及び指導に関すること。 | |
| (5) 火災の調査、統計、報告及び証明に関すること。 | |

○ 危険物係

- | | |
|-------------------------------|---|
| (1) 危険物施設の許認可及び検査並びに指導に関すること。 | (5) 石油コンビナート等特別防災区域の指導に関すること。 |
| (2) 危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関すること。 | (6) 火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）の規定に基づく煙火の消費に関すること。 |
| (3) 危険物施設の予防査察に関すること。 | (7) 危険物安全協会に関すること。 |
| (4) 液化石油ガス販売事業の意見書に関すること。 | (8) その他危険物に関すること。 |

【警防課】

○ 警防係

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| (1) 消防計画及び各種防災計画に関する
こと。 | (6) 消防施設、装備等の整備計画及び維持管理
に関すること。 |
| (2) 火災その他の災害等の警戒及び防御に関
すること。 | (7) 国庫補助金、石油交付金等に関すること。 |
| (3) 災害統計（火災、救急統計を除く。）及び
報告に関すること。 | (8) 気象、防災情報等の収集、伝達及び広報に
関すること。 |
| (4) 消防応援協定に関すること。 | (9) 消防無線及び防災行政無線に関すること。 |
| (5) 職員及び団員の警防関係教育訓練に関す
ること。 | (10) 消防用燃料の受払いに関すること。 |
| | (11) 救助及び潜水業務に関すること。 |
| | (12) その他警防に関すること。 |
-

○ 救急係

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| (1) 救急業務に関すること。 | (5) 応急手当の普及啓発に関すること。 |
| (2) 救急の統計、報告及び証明に関すること。 | (6) 医師会、医療機関等との連絡調整に関す
ること。 |
| (3) 職員の救急教育訓練に関すること。 | (7) その他救急に関すること。 |
| (4) 救急資機材の維持管理に関すること。 | |
-

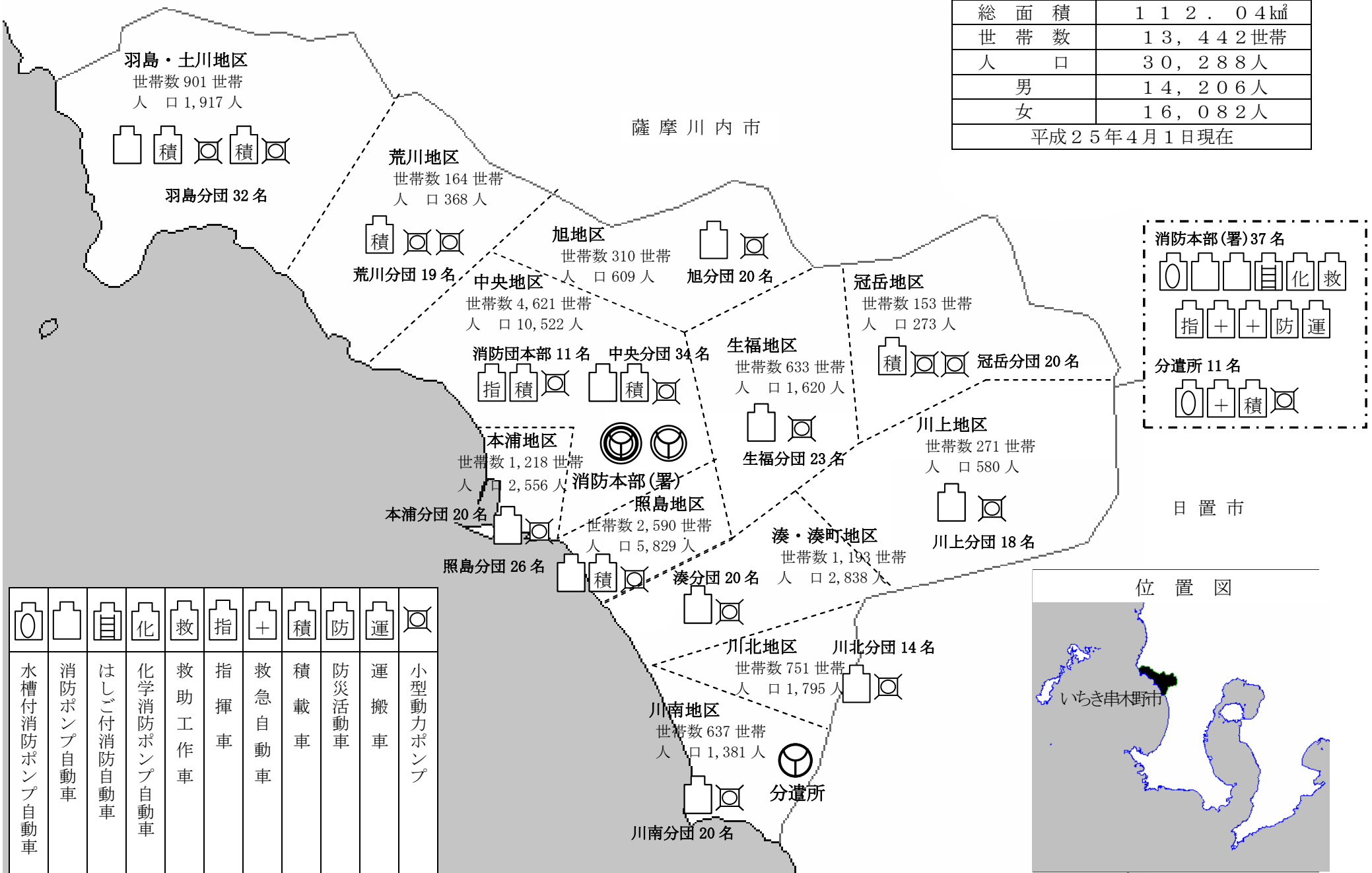
<消防署>

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| (1) 消防通信及び受付事務に関すること。 | (9) 防火対象物の訓練指導に関すること。 |
| (2) 火災、救急、救助、風水害等の災害活動
に関すること。 | (10) 防火協力団体等の指導育成に関すること。 |
| (3) 火災その他の災害の警戒に関すること。 | (11) 気象、防災情報及び火災警報等に関するこ
と。 |
| (4) 署内の会議に関すること。 | (12) 応急手当の普及に関すること。 |
| (5) 署長会に関すること。 | (13) 空地及び空家の管理指導に関すること。 |
| (6) 防火広報、予防及び警防査察の実施に関
すること。 | (14) 住宅等の火災予防に関すること。 |
| (7) 署員及び団員の訓練に関すること。 | (15) 消防資機材の出納及び保管に関すること。 |
| (8) 消防水利及び地理調査に関すること。 | (16) その他消防業務の実施に関すること。 |
-

<分遣所>

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| (1) 受付事務に関すること。 | (6) 防火対象物の訓練指導に関すること。 |
| (2) 火災、救急、救助、風水害等の災害活動
に関すること。 | (7) 防火協力団体等の指導育成に関すること。 |
| (3) 火災その他の災害の警戒に関すること。 | (8) 応急手当の普及に関すること。 |
| (4) 防火広報、予防及び警防査察の実施に関
すること。 | (9) 空地及び空家の管理指導に関すること。 |
| (5) 消防水利及び地理調査に関すること。 | (10) 住宅等の火災予防に関すること。 |
| | (11) その他消防業務の実施に関すること。 |

3 いちき串木野市消防現勢分布図



4 消防庁舎・分遣所・詰所（車庫含む。）の状況

（１）消防本部（署）・分遣所

所 管	所 在 地	構 造	敷地面積㎡	建 築 面 積 等 ㎡	建 築 年 月
消 防 本 部 消 防 署	昭和通 1 3 3 番地 1	鉄筋コンクリート造 2 階建	1,603.54	庁舎建築面積 618.80 庁舎延面積 1,020.76 訓練塔(5 階建)延 80.0	着工 S58. 7.27 竣工 S59. 3.20 増改築 H 4.10.22
い ち き 分 遣 所	大里 1 1 番地 2	鉄筋コンクリート造 2 階建	3,160.00	庁舎建築面積 301.62 訓練塔 25.00	完成 S57.9.28 増改築完成 H11.3.3 完成 H14.11.20

（２）消 防 団

所 管	所 在 地	構 造	敷地面積㎡	建 築 面 積 等 ㎡	建 築 年 月
中 央 分 団	旭町 1 番地 2	鉄筋コンクリート造 2 階建	227.02	建 築 面 積 69.08 延 面 積 118.28	H 5. 3
本 浦 分 団	西浜町 1 番地 2	鉄筋コンクリート造 2 階建	165.29	建 築 面 積 52.79 延 面 積 86.00	H12. 3
照 島 分 団	東島平町 4 1 7 番地 1	鉄筋コンクリート造 2 階建	167.65	建 築 面 積 64.71 延 面 積 120.08	H 8. 3
羽 島 分 団	羽島 5,218 番地	鉄筋コンクリート造 2 階建	羽島コミュニ ティセン ター敷地内	建 築 面 積 89.25 延 面 積 120.74	H 9. 3
	(王川班) 羽島 9,675 番地	鉄筋コンクリート造 平屋建		建 築 面 積 40.80 床 面 積 40.80	S54. 3
荒 川 分 団	荒川 2,450 番地	鉄筋コンクリート造 平屋建	小学校敷地内	建 築 面 積 72.00 床 面 積 72.00	H 6. 3
旭 分 団	下名 14,103 番地 15	鉄骨造平屋建	旭コミュニ ティセンタ ー敷地内	建 築 面 積 72.00 床 面 積 72.00	H 7. 2
生 福 分 団	上名 6,660 番 1	鉄筋コンクリート造 2 階建	452.33	建 築 面 積 72.96 延 面 積 130.08	H17.3
冠 岳 分 団	冠岳 12,984 番地 2	鉄筋コンクリート造 2 階建	231.38	建 築 面 積 37.50 延 面 積 75.00	H 7. 3
資 材 倉 庫	東島平町 26 番地 (旧照島分団車庫)	鉄骨スレート造 平屋建	129.80	建 築 面 積 62.65 延 面 積 62.65	S 50.9
湊 分 団	湊町 1 丁目 252 番地	鉄筋コンクリート造 2 階建	1,128.79 のうち一部	建 築 面 積 81.52 延 面 積 136.80	S58.3
川 南 分 団	大里 705 番地 11	鉄骨造 H 型 2 階建	230.57	建 築 面 積 53.38 延 面 積 106.76	S61.12
川 北 分 団	大里 5,631 番地	鉄骨造 2 階建	595.31	建 築 面 積 53.535 延 面 積 107.07	H4.12
川 上 分 団	川上 1,171 番地	鉄骨造 H 型 2 階建	1,505.02 のうち一部	建 築 面 積 48.19 延 面 積 96.38	S62.11
資 材 倉 庫	湊町 1 丁目 1 番地 (旧支所分団車庫)	鉄筋コンクリート造 2 階建	7600.82 のうち一部	建 築 面 積 46.80 延 面 積 93.60	H5.12

5 平成24年度の主な行事

4月	13日	第1回消防幹部会議（消防本部会議室）
5月	11日	第2回消防幹部会議（消防本部会議室）
	12日	消防団員初任者研修会（消防本部会議室他）
	22日	消防連合後援会総会（消防本部会議室）
6月	1日～7月15日	ウミガメ保護監視パトロール（市来地域の4分団）
	3日	消防団員互助会総会（串木野庁舎地下大会議室）
	10日	水防工法訓練（照島海岸）
7月	26日	第90回全国消防長会技術委員会（千葉県柏市）
	29日	第4回いちき串木野市消防団消防操法大会（日置北部公設市場）
8月	23日～24日	防火管理講習（いちきアクアホール会議室）
	26日	消防団部長以上幹部研修会（川北交流センター）
	31日	消防職員委員会（消防本部会議室）
9月	20日～21日	県消防協会日置支部長・消防団長研修会（福岡市民防災センター）
	27日	県石油コンビナート等防災訓練（串木野国家石油備蓄基地）
10月	19日	第3回消防幹部会議（消防本部会議室）
	24日	第7回いちき串木野市防火管理協会自衛消防隊対抗防火大会
11月	4日	平成24年度地震・津波災害に対する防災訓練（潮風園）
	9日～15日	秋季火災予防運動
	18日	消防団火災防ぎょ訓練（深田上集会場、冠岳交流センター付近）
	30日	第4回消防幹部会議（消防本部会議室）
12月	3日	警察・海保・消防合同年末年始特別警戒出発式（串木野漁港）
	28日～29日	消防団年末夜警（市内全域）
	28日	消防団年末夜警の市長等巡視
1月	6日	平成25年消防出初式（いちきアクアホール）
	23日	危険物安全協会及び防火管理協会合同研修視察（グリーンパークえびの他）
2月	18日	第5回消防幹部会議（消防本部会議室）
	24日	消防団火災防ぎょ訓練（生福分団車庫・詰所付近）
3月	1日～7日	春季火災予防運動
	3日	消防団火災防ぎょ訓練（消防署、羽島地区、川上地区）

6 消防予算

(1) 平成24・25年度消防予算（当初予算）

（単位：千円）

款・項・目	節	平成24年度	平成25年度	比較増減
9. 消 防 費		549,892	520,324	△ 29,568
1. 消 防 費		549,892	520,324	△ 29,568
1. 常備消防費		445,974	398,774	△ 47,200
	給 料	185,007	187,156	2,149
	職 員 手 当 等	121,941	123,830	1,889
	共 済 費	65,971	66,103	132
	賃 金	500	0	△ 500
	旅 費	1,164	1,233	69
	需 用 費	9,532	10,532	1,000
	役 務 費	3,019	2,469	△ 550
	委 託 料	11,796	1,220	△ 10,576
	使 用 料 及 び 賃 借 料	676	610	△ 66
	原 材 料 費	17	40	23
	備 品 購 入 費	42,793	2,748	△ 40,045
	負担金、補助及び交付金	2,681	2,762	81
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公 課 費	876	70	△ 806
2. 消防団費		84,595	84,188	△ 407
	報 酬	13,266	13,162	△ 104
	共 済 費	6,376	6,376	0
	災 害 補 償 費	1,513	1,513	0
	報 償 費	5,043	5,036	△ 7
	旅 費	29,523	25,759	△ 3,764
	需 用 費	4,850	3,498	△ 1,352
	役 務 費	871	923	52
	使 用 料 及 び 賃 借 料	245	95	△ 150
	原 材 料 費	15	15	0
	備 品 購 入 費	21,483	26,719	5,236
	負担金、補助及び交付金	964	751	△ 213
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公 課 費	445	340	△ 105
3. 消防施設費		2,397	15,592	13,195
	需 用 費	995	1,916	921
	委 託 料	244	228	△ 16
	使 用 料 及 び 賃 借 料	6	6	0
	原 材 料 費	20	20	0
	備 品 購 入 費	0	45	45
	負担金、補助及び交付金	1,132	1,377	245
4. 水 防 費		100	97	△ 3
5. 災害対策費		16,826	21,673	4,847

(2) 市総予算と消防予算（当初予算）

(単位：千円)

区 分 年度別	市 総 予 算	消 防 予 算	割 合 (%)	消 防 予 算 内 訳									
				常 備 消 防 費	割 合 (%)	消 防 団 費	割 合 (%)	消 防 施 設 費	割 合 (%)	水 防 費	割 合 (%)	災 害 対 策 費	割 合 (%)
21	12,470,000	479,371	3.8	387,888	80.9	80,018	16.7	1,355	0.3	100	0.02	10,010	2.1
22	13,042,000	508,804	3.9	430,793	84.7	62,866	12.4	3,903	0.8	100	0.02	11,142	2.2
23	14,776,000	510,956	3.5	429,929	84.1	60,993	11.9	8,221	1.6	101	0.02	11,712	2.3
24	14,564,000	549,892	3.8	445,974	81.1	84,595	15.4	2,397	0.4	100	0.02	16,826	3.1
25	15,498,000	520,324	3.4	398,774	76.6	84,188	16.2	15,592	3.0	97	0.02	21,673	4.2

(3) 消防予算と人口・世帯数との比較（当初予算）

年度	消 防 予 算 (円)	住民一人当たりの 消 防 費 (円)	一世帯当たりの 消 防 費 (円)	人 口 (人)
				世 帯 数
21	479,371,000	15,255	35,617	31,424
				13,459
22	508,804,000	16,330	37,810	31,158
				13,457
23	510,956,000	16,601	38,088	30,778
				13,415
24	549,892,000	18,008	40,942	30,536
				13,431
25	520,324,000	17,179	38,709	30,288
				13,442

7 人事・教養

(1) 消防職員の配置状況

(H25. 4. 1現在)

階級 区分	実員	消 防 本 部								消 防 署			分 遣 所		
		消 防 長	次 長	課 長	総 務 係	予 防 係	危 険 物 係	救 急 係	警 防 係	署 長	第 一 部 隊	第 二 部 隊	分 遣 所 長	第 一 部 隊	第 二 部 隊
司令長	1	1 ※													
司 令	8			3 ※	1	1 ※			1	1 ※	1	1	1 ※		
司令補	9				1	1	1	2	1		3	3		1	2
士 長	20				2	5	2	2	4		8	7		3	2
副士長	0														
消防士	9					2	1	2	2		3	4		1	1
その他	1				1										
合 計	48	1		3	5	9	4	6	8	1	15	15	1	5	5

注 1. ※印は日勤者

(2) 消防職員の年齢

(H25. 4. 1現在)

階級	年齢	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
司令長										1		1	58.0
司令									6	2		8	53.4
司令補							3	4	2			9	47.0
士長					2	4	12	2				20	40.5
副士長													
消防士		1	1	4	2	1						9	27.8
その他						1						1	36.0
合計		1	1	4	4	6	15	6	8	3		48	41.8

7 人事・教養

(1) 消防職員の配置状況

(H25. 4. 1現在)

階級	区分	実員	消防本部							消防署			分遣所			
			消防	次	課	総務	予防	危険物	救急	警防	署	第一	第二	分遣	第一	第二
			長	長	長	係	係	係	係	係	長	隊	隊	所長	隊	隊
司令長		1	1 ※													
司令		8			3 ※	1	1 ※			1	1 ※	1	1	1 ※		
司令補		9				1	1	1	2	1		3	3		1	2
士長		20				2	5	2	2	4		8	7		3	2
副士長		0														
消防士		9					2	1	2	2		3	4		1	1
その他		1				1										
合計		48	1		3	5	9	4	6	8	1	15	15	1	5	5

注 1. ※印は日勤者

(2) 消防職員の年齢

(H25. 4. 1現在)

階級	年齢	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
司令長										1		1	58.0
司令									6	2		8	53.4
司令補							3	4	2			9	47.0
士長					2	4	12	2				20	40.5
副士長													
消防士		1	1	4	2	1						9	27.8
その他						1						1	36.0
合計		1	1	4	4	6	15	6	8	3		48	41.8

(3) 消防職員の勤続年数

(H25.4.1現在)

階 級 \ 勤続年数	5年未満	5年 ～ 9年	10年 ～ 14年	15年 ～ 19年	20年 ～ 24年	25年 ～ 29年	30年 ～ 34年	35年 以上	合 計
司令長	1								1
司 令							4	4	8
司令補					3	5	1		9
士 長		5	2	5	6	2			20
副士長									0
消防士	4	5							9
その他	1								1
合 計	6	10	2	5	9	7	5	4	48

(4) 消防職員研修状況

(H25.4.1現在)

学 科 別 \ 年 度 別		平成19年 度以前の 実績	平 成 20年度	平 成 21年度	平 成 22年度	平 成 23年度	平 成 24年度	計
消防 大学 校	救 助 科	1						1
	警 防 科					1		1
	火 災 調 査 講 習 会	2						2
	新任消防長・学校長科						1	1
消 防 学 校	初 任 科	42	3		3	1	1	50
	救 急 I 課 程	21						21
	救 急 II 課 程	14						14
	救 急 標 準 課 程	9						9
	救 急 科	1	3	3	3	3	3	16
	気 管 挿 管 講 習	5	2	1				8
	救 助 科	13			2	2	2	19
	警 防 科	2		1				3
	予 防 科 (課 程)	7						7
	査 察 課 程	1						1
	予 防 査 察 科 (課 程)	2		1		1		4
	火 災 調 査 科 (課 程)	7	1				1	9
	初 級 幹 部 科	2		1		1		4
	中 級 幹 部 科	1	1		1		1	4
	無 線 科	1						1
	職 員 指 導 員 科	2						2
	梯 子 車 研 修	4						4
九州 救急 救命 研修 所	救 急 救 命 士 研 修	9		1			1	11
	薬 剤 投 与 追 加 講 習	1	1	1	1	4		8
	気 管 挿 管 講 習	4	2	1	1			8
薬 剤 投 与 病 院 実 習		2	1	1				4
気 管 挿 管 病 院 実 習		3	1	1	1		1	7
開海 発洋 機研 究	潜 水 業 務 管 理 研 修		2					2
	潜 水 技 術 特 別 研 修	1						1
	潜 水 技 術 指 導 研 修				1			1
消防救急緊急自動車運転技能者研修		1						1
九 州 地 区 警 防 実 務 研 修				1	1			2
合 計		158	17	13	14	13	11	226

8 消防団

(1) 消防分団所轄区域、定員及び幹部名

(H25.4.1現在)

分団 区分	団 本 部	本 部 付 団 員	中 央	本 浦	照 島	羽 島	荒 川	旭 地	生 福	冠 岳	湊 町	川 南	川 北	川 上	合 計
団 長	1														1
副団長	2														2
分団長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
副分団長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
部 長			4	2	3	4	2	2	3	2	2	2	2	2	30
班 長			6	4	5	6	4	4	5	4	4	4	4	4	54
団 員		8	22	12	16	20	11	12	13	12	12	12	6	10	166
実 員	3	8	34	20	26	32	19	20	23	20	20	20	14	18	277
定 員	3	10	35	21	27	32	20	20	25	20	22	21	21	20	297
所 轄 区 域			串 木 野 地 区 (本浦分団区域を除く。)	本 浦 地 区	照 島 地 区	羽 島 ・ 土 川 地 区	荒 川 地 区	旭 地 区	生 福 地 区	冠 岳 地 区	湊 ・ 湊 町 地 区	大 里 の う ち 川 南 地 区	大 里 の う ち 川 北 地 区	川 上 地 区	
世帯数			4,621	1,218	2,590	901	164	310	633	153	1,193	637	751	271	13,442
人 口			10,522	2,556	5,829	1,917	368	609	1,620	273	2,838	1,381	1,795	580	30,288
団 長	副団長		分 団 長												
井 手 迫 正 昭	原 柳 口 田 政 三 敏 男	(女性消防団員)	西 田 憲 一	上 新 薫	石 川 一 仁	久 保 一 夫	東 幸 基	竹 之 下 直 正	池 之 上 年 治	松 下 進	前 田 浩 幸	田 崎 昭 彦	池 田 郁 郎	大 迫 修 藏	

(2) 消防団員の勤続年数

(H25. 4. 1現在)

階級 \ 勤務年数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年以上	合計
団長								1	1
副団長								2	2
分団長					1	5	3	3	12
副分団長				1		5	3	3	12
部長				2	13	7	6	2	30
班長		1	3	26	10	9	4	1	54
団員	75	40	32	10	4	5			166
合計	75	41	35	39	28	31	16	12	277

(3) 消防団員の年齢

(H25. 4. 1現在)

階級 \ 年齢	24歳以下	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	合計	平均年齢
団長										1	1	68.0
副団長										2	2	68.5
分団長							2	1	4	5	12	62.8
副分団長							1	2	7	2	12	62.0
部長					1	1	5	9	11	3	30	58.4
班長				3	7	5	15	18	6		54	52.6
団員	6	24	22	29	25	16	17	13	13	1	166	41.2
合計	6	24	22	32	33	22	40	43	41	14	277	47.4

(4) 消防団員出場状況

(H24年度)

分 団 別 出場区分			団本部	中 央	本 浦	照 島	羽 島	荒 川	旭	生 福	冠 岳	湊	川 南	川 北	川 上	女 性 団 員	合 計	
火 災 等 災 害	火 災	回 数	3	2	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	11	
		人 員	7	32	31	29	0	0	0	15	0	0	0	0	9	0	123	
	風水害等 の災害	回 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		人 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小 計	回 数	3	2	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	11
		人 員	7	32	31	29	0	0	0	15	0	0	0	0	0	9	0	123
演 習 訓 練 等	演習訓練	回 数	15	37	30	30	51	32	33	30	30	28	28	30	29	5	408	
		人 員	34	426	283	310	552	223	226	286	210	226	227	252	264	23	3,542	
	その他	回 数	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
		人 員	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
	小 計	回 数	33	37	30	30	51	32	33	30	30	28	28	30	29	5	426	
		人 員	56	426	283	310	552	223	226	286	210	226	227	252	264	23	3,564	
そ の 他	広報指導	回 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		人 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	警防調査等	回 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		人 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	特別警戒	回 数	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	1	54
		人 員	12	67	50	54	69	38	44	44	46	48	50	38	50	6	616	
	捜 索	回 数	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
		人 員	2	0	0	0	5	15	0	0	0	0	0	0	0	0	2	24
	その他	回 数	20	15	11	13	11	9	12	11	13	9	12	11	12	12	13	172
		人 員	47	50	33	47	45	33	31	37	38	30	34	37	32	36	530	
	小 計	回 数	25	20	15	17	16	14	16	15	17	13	16	15	16	16	15	230
		人 員	61	117	83	101	119	86	75	81	84	78	84	75	82	44	1,170	
合 計		延回数	61	59	47	49	67	46	49	46	47	41	44	45	46	20	667	
		延人員	124	575	397	440	671	309	301	382	294	304	311	327	355	67	4,857	

(5) 消防団員の報酬等

(単位：円)

階級 区分		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
報 酬	年 報 酬	143,200	92,500	84,400	46,700	42,700	41,200	39,700
	技 術 報 酬	消防ポンプ車等の機関員 年額15,000 小型動力ポンプ機関員 年額10,000						
費 用 弁 償	災 害・訓 練 等 出 動 手 当	1 回 1 人 5,100						

9 いちき串木野市消防連合後援会

(H25.6.1現在)

後 援 会 (部) 名	会 (部) 長	役 職 名
中 央 分 団 後 援 会	野 元 克 己	会 長
本 浦 分 団 後 援 会	福 岩 宏 基	
照 島 分 団 後 援 会	濱 涯 龍 也	監 事
羽 島 地 区 公 民 館 消 防 後 援 部	富 永 享	副 会 長
荒 川 地 区 公 民 館 消 防 後 援 部	富 宿 徹	
旭 地 区 公 民 館 消 防 後 援 部	山 下 二 直 男	
生 福 分 団 後 援 会	木 場 與 一 郎	
冠 岳 地 区 公 民 館 消 防 後 援 部	大 平 義 久	
湊 分 団 後 援 会	妙 円 園 努	
川 南 分 団 後 援 会	本 田 幸 広	
川 北 分 団 後 援 会	松 崎 直 孝	副 会 長
川 上 分 団 後 援 会	内 田 政 司	監 事

10 表 彰 (平成23年度)

(1) 消防庁長官表彰

- 永年勤続功労章
(荒川) 塩 屋 重 満

(2) 日本消防協会会長表彰

- 精績章
(中央) 宇 都 耕 平
- 勤続章
(生福) 向 井 国 行
(羽島) 福 永 茂 幸
(本浦) 前 蘭 俊 也
(羽島) 大 崎 勝 夫
(羽島) 松 寄 清 美
(本部) 谷 口 浩 貴
(本部) 平 石 剛

(3) 鹿児島県知事表彰

- 10年勤続章
(川北) 藤 田 光 昭
(中央) 中 野 徳 夫
(冠岳) 岩 下 浩 三
(湊) 河 原 勇 司
(旭) 市 来 栄 光
(羽島) 安 藤 強
(羽島) 中 島 典 幸
(羽島) 坂 口 雄 介
(生福) 生 野 英 明
(冠岳) 藤 脇 政 盛

(4) 鹿児島県消防協会総裁表彰

- 功績章
(川上) 古 川 清 行
(旭) 金 井 政 行
(旭) 芹 ケ 野 募
(冠岳) 川 畑 千 秋
(羽島) 赤 崎 義 美
(冠岳) 久 保 親 雄
(羽島) 田 畑 雄 一
(本部) 野 田 和 徳
- 精績章
(羽島) 岩 下 市 蔵
(冠岳) 谷 口 多 津 夫
(生福) 坂 下 春 樹
(中央) 上 屋 昭 二
(本浦) 上 新 智 彰
(湊) 大 毛 喜 久 男
(旭) 橋 野 次 也
(旭) 三 窪 正 則
(川上) 永 井 正 規
(冠岳) 大 平 正 明
(本部) 石 堂 成 章

(6) いちき串木野市長表彰

- 10年勤続章
(羽島) 安 藤 強
(羽島) 中 島 典 幸
(羽島) 坂 口 雄 介
(生福) 生 野 英 明
(冠岳) 藤 脇 政 盛
(川南) 木 場 俊 介

(7) いちき串木野市長感謝状

- 20年以上勤続団員の奥様
(川上) 古 川 禮 子
(旭) 金 井 恵 子
(旭) 芹 ケ 野 幸 美
(冠岳) 川 畑 み さ 子
(羽島) 赤 崎 香 知 子
(羽島) 田 畑 恵 理 子
- 消防団協力事業所
濱 田 酒 造 株 式 会 社
医 療 法 人 杏 林 会

(5) 鹿児島県消防協会日置支部長表彰

- 15年勤続章
(冠岳) 大 平 良 徳
(荒川) 古 蘭 正 市
(生福) 川 崎 將 弘
(荒川) 戸 田 伸 明
(湊) 内 野 勝 之
(中央) 濱 平 直 亮
(川南) 原 口 圭 一
(川上) 松 比 良 英 二
(本部) 羽 根 田 誠

Ⅲ 予 防 ・ 危 険 物

防火対象物数（法第 1 7 条）	1, 2 0 7
----------------------------	----------

危険物施設数（法第 1 1 条）	1 4 5
----------------------------	-------

1 防火対象物の状況

多数の人が利用する建築物は、火災が発生した場合人命危険が大きいので、一定規模以上の建築物については、防火管理者の選任及び消火設備、警報設備、避難設備などの消防用設備等の設置と維持管理が消防法で義務付けられている。
(H25. 4. 1現在)

対 象 物 別		区 分	対 象 物 数 (150 m ² 以上)	防火管理者が必要 な対象物数 (150 m ² 未満を含む)	定期点検 が必要な 対象物数
1 項	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	1	1	1
	ロ	公会堂、集会場	20	20	11
2 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類			
	ロ	遊技場、ダンスホール	5	5	4
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	1	1	
3 項	イ	待合、料理店の類			
	ロ	飲食店	33	25	
4 項		百貨店、マーケット、展示場の類	63	32	6
5 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類	7	4	2
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	195	17	
6 項	イ	病院、診療所、助産所	34	16	
	ロ	老人福祉施設等（入所施設）	13	12	
	ハ	保育所、老人デイサービスセンター等	25	13	1
	ニ	幼稚園、特別支援学校	19	5	
7 項		小・中・高・大学各種学校の類	81	17	
8 項		図書館、博物館、美術館の類	2	2	
9 項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類			
	ロ	上記以外の公衆浴場	2	1	
10 項		車両の停車場又は船舶、航空機の発着場	2		
11 項		神社、寺院、教会の類	6	5	
12 項	イ	工場、作業場	176	11	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			
13 項	イ	自動車車庫、駐車場	33		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14 項		倉庫	126	1	
15 項		前各項に該当しない事業場	171	23	
16 項	イ	特定防火対象物が存する複合用途対象物	119	35	6
	ロ	上記以外の複合用途対象物	72	5	
16の2 項		地下街			
16の3 項		準地下街			
17 項		重要文化財の類			
18 項		延長 50m以上のアーケード	1		
合 計			1207	251	31

2 防火対象物階層別状況（4階以上・棟数）

（H25.4.1現在）

令別表第一区分		4 階	5 階	6 階	10階	合 計
5 項	イ 旅館・ホテル等	1 湊 町 1				1
	ロ 共同住宅・寄宿舎等	41 中 央 11 本 浦 5 照 島 10 羽 島 1 川 北 5 湊 町 5 湊 4	15 中 央 1 照 島 13 湊 町 1			56
6 項	イ 病院・診療所等	5 中 央 1 照 島 3 湊 町 1				5
	ロ 主として要介護状態にある者又は重度の	1 川 南 1	1 中 央 1			2
	ハ 老人福祉施設、地域活動支援センター等				1 中 央 1	1
7 項	小学校・中学校・高等学校・大学、各種学校等	3 照 島 3	2 照 島 2			5
12 項	イ 工場又は作業場	2 中 央 1 荒 川 1				2
14 項	倉 庫	1 本 浦 1				1
15 項	前各項に該当しない事業場（事務所等）	4 中 央 1 本 浦 2 羽 島 1				4
16 項	イ 複合用途防火対象物（特定用途部分を含むもの）	9 中 央 9	1 中 央 1	1 中 央 1		11
	ロ 複合用途防火対象物（特定用途部分を含まないもの）	4 中 央 4				4
合 計		71	19	1	1	92
地区別	中 央	27	3	1	1	32
	本 浦	8				8
	照 島	16	15			31
	羽 島	2				2
	荒 川	1				1
	川 南	1				1
	川 北	5				5
	湊	4				4
	湊 町	7	1			8
専 用 住 宅		1				1

3 建築同意事務等処理状況

(1) 建築同意状況

(H 2 4 年度)

対 象 物 別 工 事 種 別	一 項 イ	一 項 ロ	四 項	六 項 ロ	六 項 ハ	六 項 ニ	七 項	十二 項 イ	十三 項 イ	十四 項	十五 項	十六 項 イ	専 住 そ の 他	合 計
新 築	1	1	7	1	1		1	4	6	11	11	1	8	53
増 築					1	1			1				1	4
そ の 他					1		1						1	3
合 計	1	1	7	1	3	1	2	4	7	11	11	1	10	60

(2) 専用住宅建築確認通知状況

(H 2 4 年度)

月 別	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3	合 計
件 数	8	3	1	15	17	7	13	3	17	5	9	9	1 0 7

4 消防用設備等設置検査実施状況

(H 2 4 年度)

対 象 物 別 設 備 別	一 項 ロ	二 項 二	四 項	六 項 イ	六 項 ロ	六 項 ハ	六 項 ニ	七 項	十二 項 イ	一 三 項 イ	十四 項	十六 項 イ	合 計
消 火 器	1		6	1	1	2			1		1	1	14
屋 内 消 火 栓 設 備							1		1				2
スプリンクラー設備					1	1							2
非 常 警 報 設 備			2										2
自 動 火 災 報 知 設 備	1	1	1		1	2	1	2	1	1			11
非 常 警 報 設 備			1									1	2
誘 導 灯	1		4	1	1	2			1			1	11
誘 導 標 識			2								1		3
消 防 機 関 へ 通 報 する 火 災 報 知 設 備					1	3							4
合 計	3	1	16	2	5	10	2	2	4	1	2	3	51

5 消防法関係届出状況

(H24年度)

対象物別		防火管理者 選 任 届	防火管理者 解 任 届	消防計画 作成(変更)届	工事整備対象 設備等着工届	消防用設備等 (特殊消防用設備等) 設 置 届	消防用設備等 点検結果報告
1項	イ				1		1
	ロ	2	2	3	3	4	17
2項	イ						
	ロ	1	1	1			5
	ハ						
	ニ	1	1	1		1	2
3項	イ						1
	ロ	2	2	2			7
4 項		10	6	9	8	16	26
5項	イ	1	1	1			10
	ロ	2	2	2			9
6項	イ	1	1	2		2	29
	ロ	4	4	4	2	5	19
	ハ	1		2	6	10	16
	ニ	1	1	1	1		5
7 項		6	6	5	2	2	7
8 項		2	2	2			
9項	イ						
	ロ						
10 項							
11 項							1
12項	イ			1	3	4	15
	ロ						
13項	イ				1	1	1
	ロ						
14 項						3	3
15 項		8	8	7	3		15
16項	イ	5	1	5	6	5	29
	ロ	1	1	1			2
16の2項							
16の3項							
17 項							
18 項							
19 項							
20 項							
合 計		48	39	49	36	53	220

6 火災予防条例関係届出状況

(H24年度)

種 別 \ 月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
炉												1	1
ボイラー設備				3						1		1	5
変電設備			3	1		12	4	1			2	1	24
発電設備				1				1		2			4
蓄電池設備			1							1	8		10
厨房設備												1	1
乾燥設備												1	1
水素ガスを充てんする気球	1		1		2		3	2		1			10
消防用設備等緩和願			1			1				1			3
防火対象物使用開始	1	2	3	2	2	4		1	1	2		3	21
火災とまぎらわしい煙又は 火災を発生するおそれのある行為		2		1			1	2	2	19		3	30
煙火打ち上げ	2			2	3	7	5	1			2	1	23
道路工事	7	6	8	6	4	11	7	8	14	19	8	3	101
合 計	11	10	17	16	11	35	20	16	17	46	20	15	234

7 防火啓発状況

(H24年度)

方 法	対 象	回 数	備 考
広 報 車	市 内 全 域	2	春・秋火災予防運動期間中 又は火災気象通報発表時 等の防火上警戒を要する 時に実施
防 災 行 政 無 線	市 内 全 域	16	
広報くしきの(おしらせ版)	市 内 全 家 庭	8	
防 火 ポ ス タ ー 配 布	市 内 各 事 業 所 等	19	
避 難 訓 練 等 指 導	各公民館・各事業所等	200	各公民館、各事業所等からの 依頼で実施
防 火 ・ 防 災 座 談 会	各公民館・各事業所等	9	各種会合時、又は公民館等 からの依頼で実施

8 危険物施設の状況

(H25.4.1現在)

施設区分 倍数別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
5倍以下	1	4	5		12		13		3			13	51
5倍を越え 10倍以下		2	4	2	5		2	2	5			8	30
10倍を越え 50倍以下	1		17		4				9			5	36
50倍を越え 100倍以下			1						8				9
100倍を越え 150倍以下			1		1				3				5
150倍を越え 200倍以下									4				4
200倍を越え 1000倍以下			2								1		3
1000倍を越えるもの			6								1		7
合 計	2	6	36	2	22		15	2	32		2	26	145

9 危険物関係許可・検査処理状況

(H 2 4 年度)

種 別 施 設 区 分	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				計
		屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般	
設 置 許 可			1				1	1					3
変 更 許 可			1		1		1		3			1	7
完 成 検 査			2		1			1	3			1	8
水 圧 ・ 水 張 検 査									2				2
仮使用（貯蔵取扱）承認			1		1				3			1	6
岩盤タンク定期保安検査			3										3
計			8		3		2	2	11			3	29

10 危険物施設の立入検査状況

(H 2 4 年度)

施 設 別	実 施 施 設 数	立 入 検 査 延 回 数
製 造 所	2	2
屋 内 貯 蔵 所	5	5
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	34	34
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	2	2
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	20	20
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	15	15
屋 外 貯 蔵 所	1	1
給 油 取 扱 所	30	30
販 売 取 扱 所		
移 送 取 扱 所	2	2
一 般 取 扱 所	22	22
計	133	133
少量危険物貯蔵取扱所	40	40

11 液化石油ガス等の保安指導状況

(1) 届出の義務

消防法第9条の3では、火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある圧縮アセチレンガス、液化石油ガスその他の物質（毒物、劇物等）を政令で指定し、一定以上の貯蔵又は取扱いをする場合、消防長等に届け出ることを義務づけている。

(2) 消防機関の対応

この届出に対し、消防機関は先ず、火災予防措置として査察指導を行い、火災発生の未然防止を図り、次に万一の火災発生時において、これらの物質から発生する特異かつ重大な危険が付近住民に波及することを防止し、かつ消火活動にあたる消防職員に対する危害を防止するための対策に役立てることを狙いとする。

(3) 液化石油ガス施設等の現況

(H25.4.1現在)

物 質	数 量	貯 蔵 ・ 取 扱 施 設 数	備 考
液 化 石 油 ガ ス	3 0 0 kg 以上	2 4 3	
圧縮アセチレンガス	4 0 kg 以上	2	
シアン化ナトリウム	3 0 kg 以上	1	毒 物
硫 酸	2 0 0 kg 以上	2	劇 物

12 串木野国家石油備蓄基地の概要及び現況

(1) 概 要

位 置：いちき串木野市西薩町 1 番地及び北部丘陵地
備 蓄 方 式：常圧貯蔵横穴水封固定水床式
面 積：貯油施設地区 2 6 ha（投影）地上施設地区 5 ha
貯蔵許可数量：1,740,874.4KL（約175万KL）
類 別・品 名：第4類 第1石油類（原油）
地 下 貯 油 槽（岩盤タンクに係る屋外タンク貯蔵所）
形 状：卵型（高さ 22m × 幅 18m × 長さ 555m）10基
水封トンネル：3本
地上荷役施設：操油設備・用役設備・電気計装設備・公害防止設備・安全防災設備・管理施設等
海上荷役設備：10万DWT級一点係留浮標式係留設備1基・海底原油配管2,300m
危険物の移送量：受け入れ時 120,000KL/日
払い出し時 96,000KL/日
他の危険物施設：屋外タンク貯蔵所 7 地下タンク貯蔵所 1
屋内貯蔵所 1 一般取扱所 6 移送取扱所 2
石油コンビナート等特別防災区域指定：平成4年8月28日
串木野基地起工：昭和62年3月31日
備蓄原油総量：約168万KL



(2) 現 況

ア. 労働無災害時間記録を継続中

平成25年3月31日 253.6万時間

イ. 平成24年度 消防立入検査

下記の定期消防立入検査において書類審査、現地審査共、問題のない事が確認されました。

- ・ 特定防災区域内巡回パトロール実施（5/21, 8/20, 12/5, 2/20）
- ・ 岩盤関係定期消防立入検査 実施（4/24, 7/19, 10/12, 2/26）
- ・ 危険物施設年次立入検査 実施（11/29, 11/30）

ウ. 串木野国家石油備蓄基地第2回岩盤タンク定期保安検査

下記の日程で、3回に亘り保安検査が実施され、保安検査済証を受領することができました。

- ・ 第1回保安検査 11/5～11/9
- ・ 第2回保安検査 11/19～11/21
- ・ 第3回保安検査 11/29～11/30
- ・ 保安検査済証発行 12/7 付受領済

エ. 鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練の実施

鹿児島県石油コンビナート等防災計画に基づき、平成24年9月27日（木）総合防災訓練を実施しました。

訓練参加者

鹿児島県、いちき串木野市、いちき串木野市消防本部、いちき串木野警察署など 12 機関。
消防車、パトカーなど計 20 台。総勢 154 名。

訓練想定

- ① 薩摩地方を震源とする震度 5 強の地震が発生し、大津波警報が発令、緊急避難する。大津波警報解除後の余震でスロップタンク TK-122 受入れ配管フランジ部より原油が漏洩し漏れた油に何らかの原因で着火、火災が発生。
- ② TK-101 堅坑上部室内でガスが発生し、作業中の事業所員 1 名が酸欠及び転倒時に足を骨折した。（地上部で TK-101 堅坑上部室内を想定した救出・救護訓練）
- ③ 鹿児島県防災本部からの緊急要請により、上空偵察中の県消防・防災ヘリコプターは、負傷者（酸欠及び骨折）1 名を収容し、第 3 次医療機関への緊急搬送を行う。

訓練項目

- ①緊急避難訓練②緊急通報訓練③災害情報広報訓練④交通規制訓練⑤自衛防災本部設置訓練
⑥現場指揮本部設置訓練⑦救出・救護訓練⑧土嚢構築訓練⑨被害情報収集・伝達訓練⑩救急搬送訓練⑪初期消火訓練⑫消火・延焼防止訓練

訓練時間 10:00～11:45

【訓練風景】



自衛防災班集結



自衛救助隊酸素呼吸器装着



自衛消防班



ヘリコプターによる救出

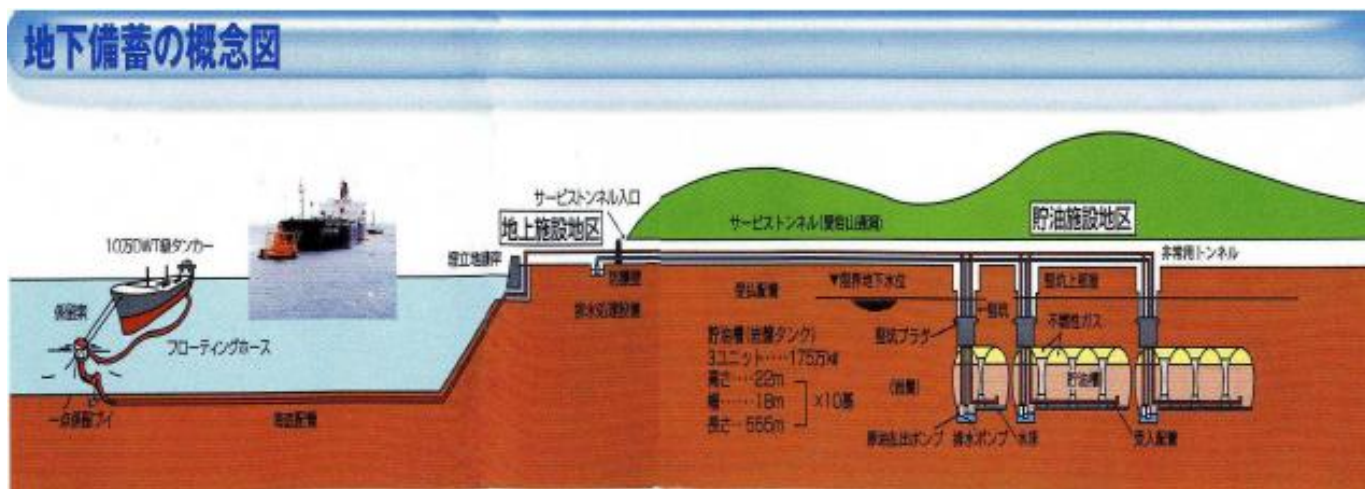


一斉放水



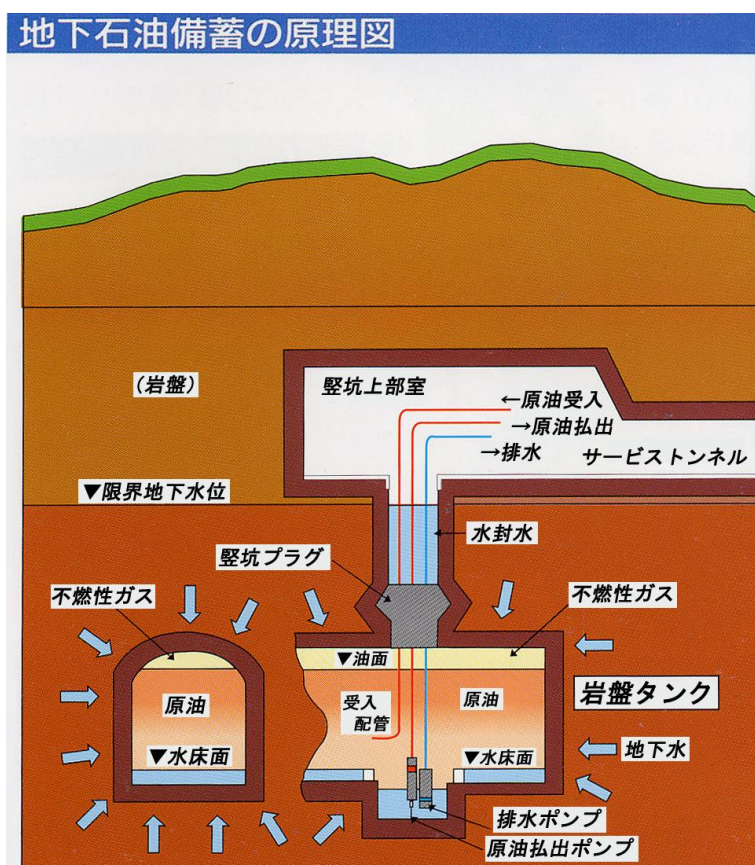
講評する現地防災本部長
(いちき串木野市長)

【地下岩盤タンクのしくみと水封式地下備蓄の原理】



水封式地下石油備蓄とは、
 地下水面下の岩盤内に空洞
 を掘ってそこに原油を貯蔵
 する方式です。自然の地下
 水に加え、一部水封トンネ
 ルから水を供給して空洞の
 周りの水圧を貯蔵された原
 油の圧力より高くすること
 によって、漏油、漏気を防
 止するシステムです。

岩盤タンクの水床の上に
 原油を貯めます。岩盤タン
 クにしみ出た地下水は、底
 水排水槽から排水ポンプに
 より排出されます。



13 消防協力団体の結成状況（H25. 4. 1現在）

（1）いちき串木野市幼少年婦人防火委員会

◎ 結成年月日 昭和55年 5月 1日

◎ 目的

当委員会は、防火・防災に対する地域住民の理解と協力を得るため、その推進の中核となるクラブ等の結成、促進並びに育成強化を図ることを目的とする。

（委員名簿）

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	深 山 龍 朗	いちき串木野市消防長
委員（監事）	井 手 迫 正 昭	いちき串木野市消防団長
委 員	塩 屋 か よ 子	照島地区婦人防火クラブ会長
〃	土 川 豊 子	土川地区婦人防火クラブ会長
〃	岩 下 尚 功	羽島保育園・幼児園幼年消防クラブ会長
〃	神 村 勲	神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ会長
〃	井 上 恒 夫	願船寺保育園幼年消防クラブ会長
〃	内 田 純 隆	市来幼稚園幼年消防クラブ会長
事 務 局	石 原 聖	いちき串木野市消防本部 予防係主査

（2）幼年消防クラブ

◎ 目的

幼年期に消防の研修を行い、火に対する正しい認識を身につけさせ、園及び各家庭の火災の予防を図るとともに、将来、人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的とする。

名 称	結 成 年 月 日	人 員
羽島ようち保育園幼年消防クラブ	昭 和 6 0 年 5 月 2 0 日	9 2 名
会 長 岩下尚功	副会長 大神光恵	
市来幼稚園幼年消防クラブ	昭 和 6 2 年 5 月 2 3 日	6 7 名
会 長 内田純隆	副会長 宮 司 和 弘	
神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ	平 成 2 年 7 月 1 6 日	1 3 0 名
会 長 神村 勲	副会長 徳 永 喜 和	
願船寺保育園幼年消防クラブ	平 成 6 年 2 月 1 9 日	8 8 名
会 長 井上恒夫	副会長 井 上 弘 顕	

（3）婦人防火クラブ

◎ 目的

家庭における火災の防止及び地域ぐるみの自主防災体制の確立が図られるよう初期消火等の訓練及び防火研修などを実施し、防火安全体制の確立を図ることを目的とする。

名 称	結 成 年 月 日	人 員
照島地区婦人防火クラブ	昭 和 52 年 7 月 23 日	1, 3 4 0 名
会 長 塩屋かよ子	副会長 奥 み ち よ	
土川地区婦人防火クラブ	昭 和 58 年 9 月 10 日	2 4 名
会 長 土 川 豊 子	副会長 松 崎 ゆ り 子	

(4) 防火管理協会

◎ 目的及び事業

災害予防対策の研究及び消防思想の普及発達に寄与することを目的とし、併せて会員相互の連絡親睦を厚くし、次の事業を行うものとする。

- ア 消防思想の普及高揚及び災害発生時における会員相互の応援業務
- イ 防火消防諸施設の視察研究
- ウ 自衛消防の強化促進
- エ 各種災害の予防対策の研究
- オ 消火器の維持管理の指導及び検査
- カ 優良事業所及び会員の表彰に関する事。
- キ 会員の弔慰見舞に関する事。
- ク その他本会の目的達成上必要と認めた事業

名 称	発 会 年 月 日	加 入 事 業 所 数
いちき串木野市防火管理協会	平成 18 年 5 月 24 日	1 2 4
(H25.5 現在) 会 長 溜池一孝 副会長 吉尾逸平・田畑和彦		

(5) 危険物安全協会

◎ 目的及び事業

危険物保安対策の研究及び消防思想の普及宣伝並びに防火施設の拡充強化に寄与し、会員相互の融和親睦を図ることを目的として、次の事業を行うものとする。

- ア 消防関係、諸法規の周知徹底に関する事。
- イ 消防思想の普及宣伝に関する事。
- ウ 危険物及び高圧ガスに対する防火及び消防諸施設の視察並びに研究に関する事。
- エ 危険物取扱者の研修に関する事。
- オ 優良事業所及び優良従業員の表彰に関する事。
- カ 会員の弔慰に関する事。
- キ その他、本会の目的達成上必要と認めた事業

名 称	発 会 年 月 日	加 入 事 業 所 数
いちき串木野市危険物安全協会	平成 18 年 5 月 26 日	8 2
(H25.5 現在) 会 長 上夷慶克 副会長 寺田洋孝・迫 直・平石 裕		

IV 火災・救急・救助

火災件数		5 件
損 害 額		6, 6 9 2 千円
死 者		2 人
負 傷 者		0 人
救急件数		1, 2 0 1 件
搬送人員		1, 1 1 9 人
救助件数		2 0 件
救助人員		1 5 人

平成24年中の火災発生状況(内訳)

火災 番号	月 日	発生場所	種 別	原 因	初期 消火 の有無	焼損棟数、り災世帯及び人員								建物焼損面積		林 野 その他	損害額	死者	負傷者
						全焼		半焼		部分焼		ぼや		床 面積 ㎡	表 面積 ㎡	焼 損 面積			
						世 帯	人 員	世 帯	人 員	世 帯	人 員	世 帯	人 員						
1	4/13 9:30	照島	建物	かまど	無	2								68			1,477		
2	10/9 9:15	上名(麓)	その他	火入れ	有											1,232			
3	11/21 15:40	生福	建物	ストーブ	有	1								18			1,882		
4	12/9 15:15	照島(東島平)	建物	不明・調査中	無	1								77			1,408	1	
5	12/13 9:30	大原(住吉)	建物	不明・調査中	有	1								78			1,925	1	

※ ()は、爆発による件数等の再掲を示す。

2 火災統計

(1) 平成24年中の火災状況 (いちき串木野市・鹿児島県)

区 分		いちき串木野市	鹿児島県 (概数)
火 災 件 数		5	702
	建 物	4	434
	林 野		23
	車 両		60
	船 舶		3
	航 空 機		
	そ の 他	1	182
焼 損 棟 数		5	680
建 物 焼 損 床 面 積 (m ²)		241	28,923
建 物 焼 損 表 面 積 (m ²)			1,598
林 野 焼 損 面 積 (a)			274
り 災 世 帯 数		3	405
り 災 人 員		6	887
死 者		2	36
負 傷 者			93
損 害 額 (千 円)		6,692	1,806,082
	建 物	6,692	1,776,456
	林 野		1,068
	車 両		19,732
	船 舶		3,041
	航 空 機		
	そ の 他		5,702
	爆 発		83

(2) 過去5年間の年別火災概要

年	区 分	火 災 件 数					焼 損 棟 数					焼 損 面 積			死傷者		り災世帯数				り 災 人 員	損害額 (千円)	
		建	林	車	船	そ の 計	全	半	部	ぼ	計	建 物 床 面 積 ㎡	建 物 表 面 積 ㎡	林	死	負 傷 者	全	半	小	計			
		物	野	両	舶	他	焼	焼	焼	や				野 a	者	者	損	損	損				
平成２０年		3	1	3		8	15	1		2		3	52		7			1			1	2	1,838
平成２１年		7	1	3		11	22	7	2	2	3	14	731	41	12	2	4	3		5	8	16	64,592
平成２２年		4	2			3	9	1			3	4	439	25	1		2	1		3	4	5	8,274
平成２３年		5		2		5	12	3		1	2	6	193					2		2	4		2,940
平成２４年		4				1	5	5				5	241			2		3			3	6	6,692
合 計		23	4	8	0	28	63	17	2	5	8	32	1,656	66	20	4	6	10	0	10	20	29	84,336

(3) 過去5年間の原因別火災発生件数

区 分 年	たばこ	こんろ	かまど	風呂 かまど	炉	ストーブ	電気 機器	電気 装置	電灯・電話等 配線	配線 器具	交通機関内 配線	火あそび	たき火	溶接機・切断機	灯火	火入れ	放火	放火の 疑い	その他	内燃機関	不明・調査中	計
平成20年	3			1			1			1			6						2		1	15
平成21年		1		1		1		1	1				9			1	1			1	5	22
平成22年		1											1			2		1			4	9
平成23年	2					1		1					1		1			1	2		3	12
平成24年			1			1										1					2	5
合 計	5	2	1	2	0	3	1	2	1	1	0	0	17	0	1	4	1	2	4	1	15	63

(4) 過去5年間の月別火災発生件数

年 月	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	計
1	1	1		1		3
2	5	1		1		7
3	4	1		2		7
4				1	1	2
5	1	2	1	1		5
6		2	1	1		4
7	1	3	1	1		6
8	2	1	2	1		6
9		5	1	1		7
10	1	2	1	1	1	6
11		2	2		1	5
12		2		1	2	5
計	15	22	9	12	5	63

(5) 過去5年間の曜日別火災発生件数

年 月	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	計
日	4	3	1		1	9
月	1	6		3		10
火	4	2		3	1	10
水	4	1	2	2	1	10
木	1	6	3	1	1	12
金	1	3	2	1	1	8
土		1	1	2		4
不明						0
計	15	22	9	12	5	63

(6) 過去5年間の時刻別火災発生件数

年 時 刻	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	計
0 ～ 1						0
1 ～ 2						0
2 ～ 3		1				1
3 ～ 4		2				2
4 ～ 5						0
5 ～ 6	1					1
6 ～ 7						0
7 ～ 8	1	1				2
8 ～ 9	1					1
9 ～ 10	1	1		2	3	7
10 ～ 11	2		1	1		4
11 ～ 12				1		1
12 ～ 13		1				1
13 ～ 14	1	1		1		3
14 ～ 15	2	3		1		6
15 ～ 16		3			2	5
16 ～ 17	2	4	1	1		8
17 ～ 18	1	1	3	3		8
18 ～ 19	1		1	1		3
19 ～ 20	1		2	1		4
20 ～ 21		2				2
21 ～ 22						0
22 ～ 23						0
23 ～ 24		1	1			2
不 明	1	1				2
計	15	22	9	12	5	63

(7) 火災発生時の気象状況

(H 2 4 年 中)

月 気象状況		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
天 気	快 晴													0
	晴										1	1	1	3
	曇												1	1
	雨				1									1
	雪													0
	不明													0
風 速 m/s	無風状態													0
	1～2										1	1	1	3
	2～3													0
	3～4				1									1
	4～5													0
	5～6													0
	6～7												1	1
	7～8													0
	8～9													0
	9～10													0
	不明													0
風 向	北				1						1			2
	北北東												1	1
	北東													0
	東北東													0
	東													0
	東南東													0
	南東													0
	南南東													0
	南													0
	南南西													0
	南西													0
	西南西													0
	西													0
	西北西											1		1
	北西													0
	北北西												1	1
	不明													0
湿 度 %	10～20													0
	20～30													0
	30～40													0
	40～50													0
	50～60										1		2	3
	60～70											1		1
	70～80													0
	80～90				1									1
	90～100													0
	不明													0

3 救急業務統計

(1) 救急業務の沿革

- S43.2 救急車1台(ニッサン・セトリック)を購入し、救急業務を任意で開始
- S44.9 消防法施行令の一部改正により本市の救急業務実施が義務化
- S44.12 市来町、東市来町と救急業務応援協定を締結 S57.9.30 破棄 (S57.10.日置地区消防組合発足に伴い、破棄)
- S45.4 川内市と救急業務相互応援協定を締結 (S56.5.破棄)
- S45.5 薩摩郡里村、鹿島村、上甕村、下甕村、樋脇町と救急業務応援協定を締結
- S48.2 S57.3.31.破棄 (S56.4.川内地区消防組合発足に伴い、破棄)
- S48.3 生命保険協会から救急車1台(ニッサン・シブリアン)の寄贈を受け救急車2台となる。
- S52.9 日本消防協会から救急車1台(ニッサン・キャバソン)の寄贈を受く。
- S52.9 S43.2.購入の救急車(ニッサン・セトリック)を大隅曾於地区消防組合消防本部へ譲渡
- S56.2 日本自動車工業会から救急車1台(ニッサン・キャバソンハイルフ)の寄贈を受く。
- S56.2 S48.3.生命保険協会からの寄贈車を廃車
- S56.5 川内地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結 (H17.11.破棄)
- S57.10 日置地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結 (H17.12.破棄)
- H元.2 救急車1台(トヨタ2000cc)を購入し、S52.9.日本消防協会からの寄贈車を廃車
- H2.1 コアガス鹿児島㈱から救急車1台(トヨタ2000cc)の寄贈を受く。
- H2.3 S56.2.日本自動車工業会からの寄贈車を運搬車に改造し、照島分団別府班に配置替え。(H7.2.廃車)
- H9.4 救急救命士第1号誕生
- H10.4 救急救命士2名となる。
- H11.4 救急救命士3名となる。
- H12.3 串木野市医師会と「救急救命士に対する医師の指示に関する協定」を締結
- H12.4 救急救命士4名となる。
- H12.11 高規格救急自動車(ニッサン・パラメディック3300cc)及び高度救命処置用資器材を購入
- H13.1 高規格救急自動車等による高度救急業務を開始
- H13.2 救急車1台(H元.2)を廃車
- H13.4 救急救命士5名となる。
- H13.12 救急車1台(トヨタ3400cc)を購入し、H2.1.コアガス鹿児島㈱からの寄贈車を廃車
- H14.4 救急救命士6名となる。
- H15.4 救急救命士7名となる。
- H16.4 救急救命士8名となる。
- H17.3 国土交通省鹿児島国道事務所等と「南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定」を締結
- H17.10 国分地区消防組合から救急車1台(トヨタ2400cc)を譲り受ける。
- H17.10 市来町との合併に伴い、現有救急車1台(トヨタ3400cc)をいちき分遣所に配置
- H17.11 薩摩川内市と「消防及び救急業務相互応援協定」を締結
- H17.12 鹿児島市消防局及び日置市消防本部との「南九州西回り自動車道における消防相互応援協定」を締結
- H17.12 日置市と「消防・救急業務相互応援協定」を締結
- H18.12 高規格救急自動車1台(ニッサン・パラメディック3500cc)を購入し、いちき分遣所に配置
- H18.12 H17.10国分地区消防組合(現霧島市消防局)から譲り受けた救急車を廃車
- H20.5 救急救命士9名となる。
- H22.4 救急救命士10名となる。
- H24.2 高規格救急自動車(ニッサン・パラメディック3500cc)及び高度救命処置用資器材を購入
- H24.2 H12.11購入の高規格救急自動車(ニッサン・パラメディック3300cc)をいちき串木野市医師会へ譲渡
- H25.1 高規格救急自動車(トヨタ・ハイメディック2693cc)及び高度救命処置用資器材を購入

(2) 救急業務取扱状況

(H 2 4 年中)

事故種別 区 分		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ の 他				計
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	転	医	資	そ	
出 場 件 数				4	87	5	6	161	4	14	616	301	1		2	1201
不 搬 送 件 数				2	11			13		7	54	2			2	91
搬 送 人 員				3	84	5	6	148	4	7	563	299				1119
性 別	男			1	39	5	4	66	1	3	292	147				558
	女			2	45		2	82	3	4	271	152				561

(3) 傷病程度別搬送状況

(H 2 4 年中)

事故種別 傷病程度		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	計
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	他	
死 亡					2			1			16	1	20
重 症					6	3	2	35	1	3	80	125	255
中 等 症				1	22	1	2	51		1	256	144	478
軽 症				2	54	1	2	61	3	3	211	29	366
そ の 他													
計				3	84	5	6	148	4	7	563	299	1119

(4) 診療科目別搬送状況 (H24年中)

診療科目	搬送人員
内科一般	49
循環器科	139
消化器科	122
呼吸器科	106
神経内科	35
小児科	33
新生児科	16
外科一般	20
整形外科	182
形成外科	16
脳神経外科	205
脳卒中	158
頭部外傷	47
泌尿器科	21
皮膚科	1
熱傷	1
その他	
産婦人科	10
耳鼻咽喉科	9
眼科	
精神科	8
服毒・中毒	14
その他	133
合計	1,119

(5) 搬送別状況 (H24年中)

搬送種別	搬送人員
条理搬送	437
依頼搬送	682
合計	1,119

(6) 覚知別出場状況 (H24年中)

覚知別	出場件数
専用(119)	777
加入電話	408
庁内電話	
かけつけ	5
現認	1
消防無線	8
その他	2
合計	1,201

(7) 居住地別搬送状況 (H24年中)

居住地別	搬送人員
市内居住者	946
市外居住者	173
その他	
合計	1,119

(8) 救急救命処置実施状況 (H24年中)

救急救命処置	男性	女性
気道確保	6	6
除細動		4
輸液	5	4
薬剤投与	3	1
合計	14	15

(9) 月別救急出場状況及び搬送人員の状況

(H24年中)

月 別	事故種別 区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計	不 搬 送
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他		
1	件数			2	5		1	16		2	51	21				98	16
	人員			1	3		1	14		1	41	21				82	
2	件数				7			12			67	34	1			121	7
	人員				8			10			62	34				114	
3	件数				8	1	1	14		2	48	27			1	102	7
	人員				9	1	1	13		1	45	26				96	
4	件数				8	1		14			38	15				76	6
	人員				7	1		12			35	15				70	
5	件数				10		1	15	1	1	58	25			1	112	11
	人員				10		1	15	1		50	25				102	
6	件数				3	1	1	12	1	1	42	21				82	4
	人員				3	1	1	10	1	1	40	21				78	
7	件数				4		1	10			43	21				79	1
	人員				6		1	10			43	21				81	
8	件数			2	9	1	1	11	1	2	55	25				107	6
	人員			2	10	1	1	11	1	2	51	24				103	
9	件数				9			16	1	2	52	24				104	5
	人員				8			16	1	1	49	24				99	
10	件数				11	1		10		1	50	29				102	5
	人員				11	1		10		1	47	29				99	
11	件数				7			17		1	45	23				93	11
	人員				4			14			41	23				82	
12	件数				6			14		2	67	36				125	12
	人員				5			13			59	36				113	
合 計	出件 場数			4	87	5	6	161	4	14	616	301	1		2	1,201	91
	搬入 送員			3	84	5	6	148	4	7	563	299				1,119	

(10) 曜日別救急出場状況

(H 2 4 年中)

曜日 事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他の				計
											転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他の	
日			1	13	1	3	30	2	4	96	27	1			178
月				11	3		26	1	2	83	44				170
火			1	15			15		2	90	46				169
水			2	8		1	22			91	46			1	171
木				10			30		3	90	54			1	188
金				17		1	20	1	1	90	50				180
土				13	1	1	18		2	76	34				145
合 計			4	87	5	6	161	4	14	616	301	1		2	1,201

(11) 現場到着所要時間別出場件数

(H 2 4 年中)

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到着平均 所要時間 (分)
急 病	59	190	257	109	1	616	6.1
交 通 事 故	10	27	40	9	1	87	5.8
一 般 負 傷	13	60	68	20		161	5.8
そ の 他	30	127	142	36	2	337	5.6
合 計	112	404	507	174	4	1,201	

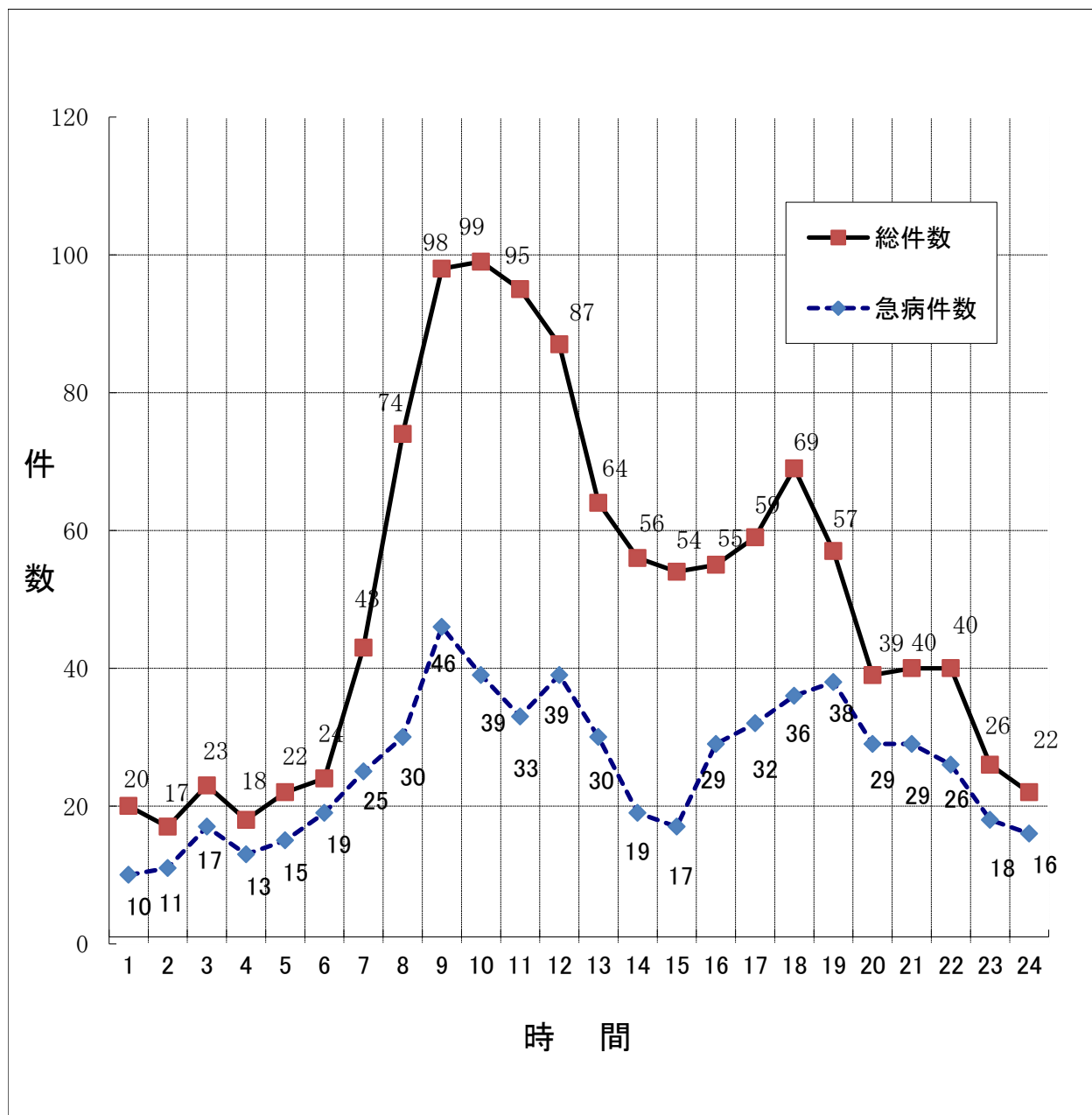
(12) 収容所要時間別搬送人員

(H 2 4 年中)

収容所要時間 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上	計	収 容 平 均 所要時間 (分)
急 病		105	217	210	31	563	32.1
交 通 事 故	1	21	34	22	6	84	29.6
一 般 負 傷		37	60	47	4	148	28.1
そ の 他		64	66	181	13	324	38.6
合 計	1	227	377	460	54	1,119	

(13) 時間別出場状況 (総件数及び急病件数)

(H 2 4 年中)

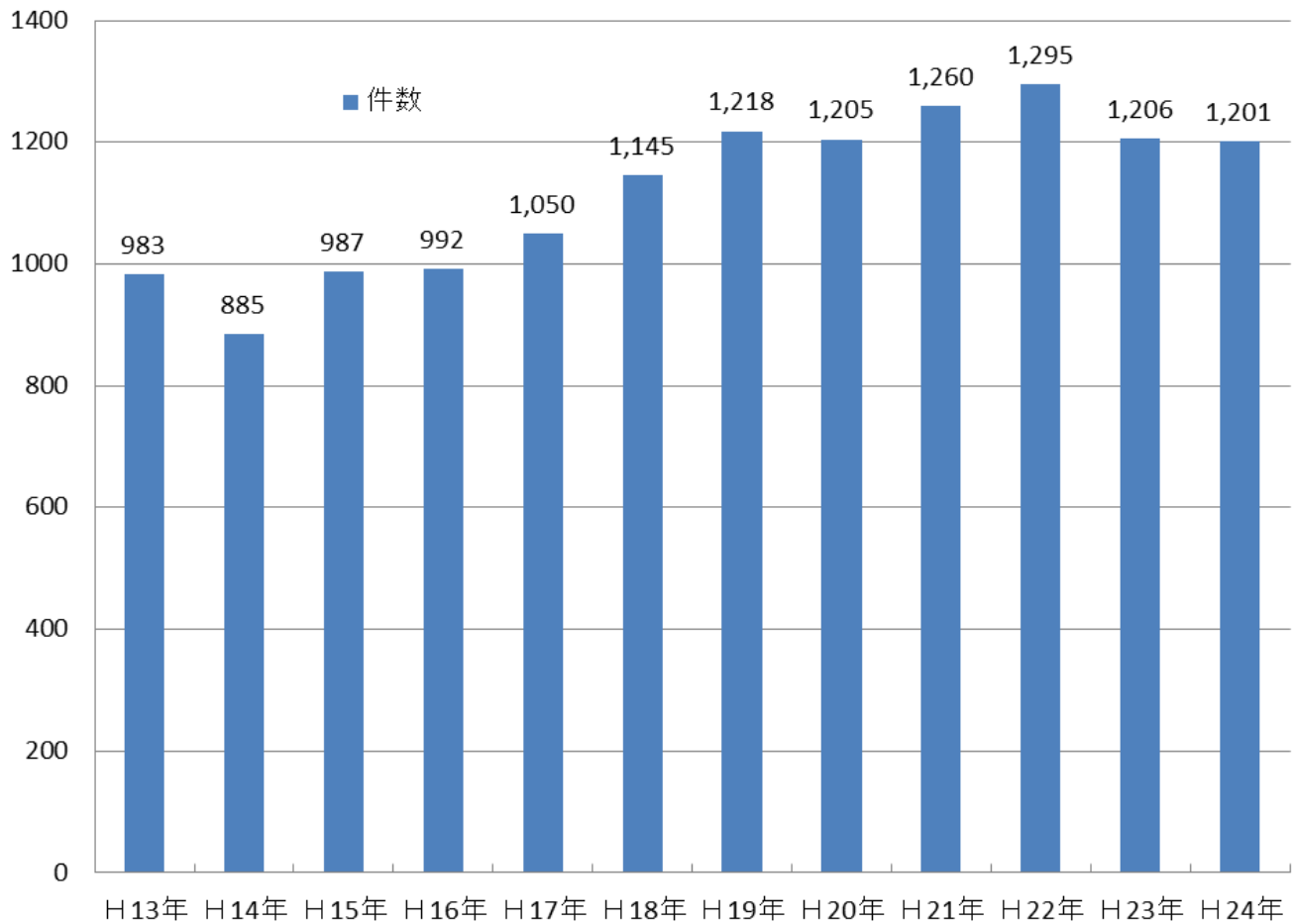


(14) 市別搬送状況 (搬送先)

(H 2 4 年中)

搬 送 先 区 分	いちき串木野市	鹿児島市	薩摩川内市	日置市	その他	計
搬 送 人 員	746	173	134	64	2	1,119
比 率 (%)	66.67	15.46	11.97	5.72	0.18	100

(15) 救急出場件数の推移



(16) 過去5年間の救急出場状況

年別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
平成20年			1	1	96	10	5	146	1	9	551	355			30	1,205
平成21年		2			80	10	7	156	7	20	574	372			32	1,260
平成22年				2	97	16	5	173	7	15	605	371			4	1,295
平成23年				2	104	9	7	174	4	11	614	277	1		3	1,206
平成24年				4	87	5	6	161	4	14	616	301	1		2	1,201

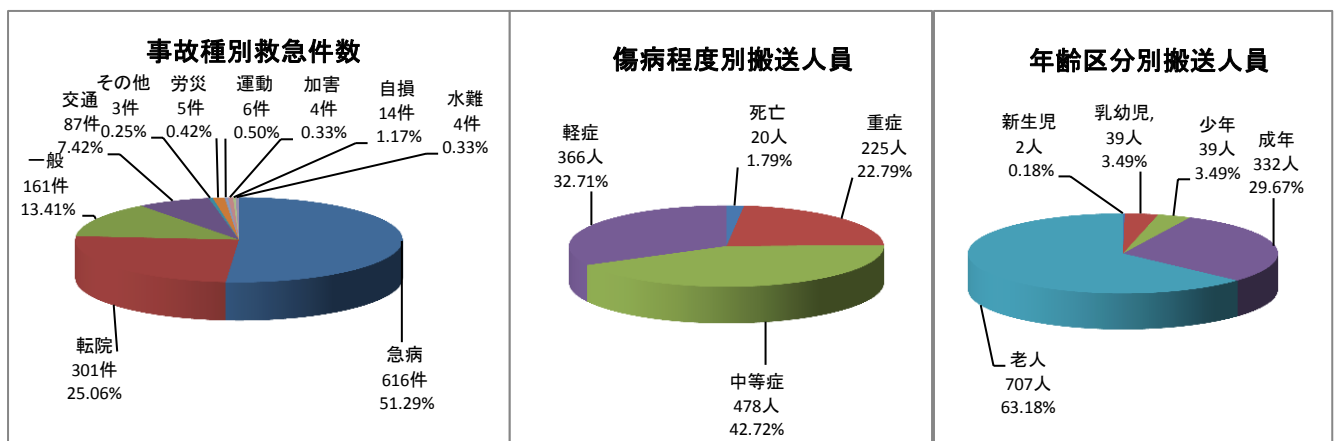
(17) 年齢別搬送人員状況

(H 2 4 年中)

年 齢 別	事 故 種 別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他	
0～9				2	5			7	1		26	6				47
10～19					7		3	3		2	20	8				43
20～29					8	1		4		2	25	7				47
30～39					6	2	2	3	3		24	9				49
40～49					7			6		1	29	12				55
50～59					17	2		5			46	20				90
60～69					8		1	18			78	40				145
70～79			1		17			34		2	122	71				247
80～89					8			51			156	101				316
90～					1			17			37	25				80
計		0	0	3	84	5	6	148	4	7	563	299	0	0	0	1,119

(18) 各 比 率

(H 2 4 年中)



※ 救急出場件数 1,201件
 ※ 搬送人員 1,119人

※ 年齢区分
 新生児（生後28日以内）
 乳幼児（29日以上7歳未満）
 少年（7歳以上18歳未満）
 成人（18歳以上65歳未満）
 老人（65歳以上）

4 救助業務統計

(1) 救助出動状況

(H24年中)

	月 日	事 故 種 別	災 害 発 生 場 所	出 動 車 両	出 動 人 員	活 動 車 両	活 動 人 員	救 助 人 員
1	1/5	交 通 事 故	南九州西回り自動車道串木野インター内下り本線入口	4	11	0	0	0
2	1/7	交 通 事 故	上名 3317-3 (薩摩山) 梅田宅北側用水路	4	10	4	10	1
3	1/10	水 難 事 故	五反田川河口 (北浜町 船着場)	4	8	4	8	1
4	1/22	水 難 事 故	上名 7859-4 (上石野) 有川屋南側 五反田川	3	8	3	8	1
5	2/24	交 通 事 故	南九州西回り自動車道下り車線 125.7P	6	16	6	16	1
6	3/19	交 通 事 故	パレス前国道 3 号線上	2	6	0	0	0
7	5/22	そ の 他	八房川左岸 木場地区用水路	2	5	2	5	1
8	6/18	そ の 他	昭和通 88 番地	2	5	2	5	1
9	7/4	交 通 事 故	ヤマト運輸株西側国道上	3	8	0	0	0
10	8/8	水 難 事 故	白浜海岸 (ゆくさ白浜前)	4	10	0	0	0
11	8/8	水 難 事 故	小瀬 142 (小瀬ドック) 先約 200m 西側防波堤	4	9	4	9	1
12	8/23	交 通 事 故	まぐろ本町かもめ公園東側路上	4	9	4	9	3
13	9/10	交 通 事 故	大里弘山御霊神社付近市道	4	10	4	10	1
14	9/21	交 通 事 故	南九州西回り自動車道 (上り線) 金山トンネル入口付近	5	14	0	0	0
15	9/21	そ の 他	冠岳 13770 番地	3	8	3	8	1
16	10/8	そ の 他	漁港外港内	4	8	4	8	1
17	10/9	交 通 事 故	生福 7898-3 「カフェ二つ菫」 駐車場	7	23	7	23	1
18	10/28	交 通 事 故	住吉町 6455 セブンプラザ串木野本店内	4	11	0	0	0
19	11/27	交 通 事 故	南九州西回り自動車道金山トンネル (下り線) 120.9P 付近	3	9	3	9	1
20	12/29	交 通 事 故	神村学園前国道 3 号線上	3	9	0	0	0
合 計				75	197	50	128	15

(2) 過去5年間の救助出動状況

区 分 \ 年		平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
出 動 件 数		12	10	17	19	20
活 動 件 数		8	4	11	11	13
救 助 人 員		12	4	11	14	15
事 故 種 別	火 災					
	交 通 事 故	10	8	9	16	12
	水 難 事 故	2		2	1	4
	自 然 災 害					
	機 械					
	建 物			1		
	ガス・酸欠					
	爆 発					
そ の 他			2	5	2	4

5 応援協定等の締結状況

(H25.4.1 現在)

締結年月日	協 定 先 名	協 定 の 種 類
S36.9.25	いちき串木野警察署	災害救助に関する協定
S45.6.15	串木野海上保安部	船舶火災の消火に関する業務協定 H6.8.19 一部改正
S59.4.1	指宿地区消防組合	消防無線使用時の混信に関する協定
H9.9.24	日本地下石油備蓄(株)串木野事業所	串木野市と日本地下石油備蓄(株)串木野事業所との応援協定
H10.4.1	薩摩川内市消防局	携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定
H10.6.26	県内各市町村及び各消防本部	鹿児島県消防・防災ヘリコプター応援協定
H12.3.1	いちき串木野市医師会	救急救命士に対する医師の指示に関する協定
H17.11.18	薩摩川内市	消防及び救急業務相互応援協定
H17.12.12	日置市	消防・救急業務相互応援協定
H18.10.25	県内市町村及び消防の一部事務組合	鹿児島県消防相互応援協定
H19.3.1	国土交通省鹿児島国道事務所 県警察本部交通部高速道路交通警察隊 薩摩川内市消防局	南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定
H19.3.2	鹿児島市 日置市 薩摩川内市	南九州西回り自動車道における消防相互応援協定
H23.12.22	各市町村	鹿児島県ドクターヘリ運行事業における救急搬送に関する相互応援協定

1 基準消防力と現有消防力との比較

(1) 消防本部（署）

(H 2 5 . 4 . 1 現在)

種 別 \ 区 分	基 準	現 有	充足率 (%)	過・不足 (▲)
署所の数	2	2	100	0
人員	90	48	53.3	▲ 42
消防ポンプ車	3	3	100	0
はしご車	1	1	100	0
化学車	1	1	100	0
救急車	2	2	100	0
救助工作車	1	1	100	0
非常用消防自動車	1	1	100	0
非常用救急自動車	1	1	100	0

(2) 消防団

(H 2 5 . 4 . 1 現在)

区 分 \ 種 別		基 準	現 有	充足率(%)	過・不足 (▲)
市街地	動力消防ポンプ	8 口	消防ポンプ車 3 台 6 口	125	2 口
			小型動力ポンプ 4 台 4 口		
準市街地	動力消防ポンプ	20 口	消防ポンプ車 5 台 10 口	75	▲ 5 口
			小型動力ポンプ 5 台 5 口		
その他	動力消防ポンプ	11 口	消防ポンプ車 2 台 4 口	100	0 口
			小型動力ポンプ 7 台 7 口		
人 員		584 人	277 人	47.4	▲ 307 人

(3) 消防職・団員と市民との割合

(H 2 5 . 4 . 1 現在)

種 別 \ 区 分	消 防 職 員 (1 人 当 り)	消 防 団 員 (1 人 当 り)
世 帯 (13,442)	280.0	48.5
人 口 (30,288)	631.0	109.3

2 消防機械器具及び水利状況

(1) 消防署の消防車両状況

(H25.4.1現在)

種 別	車 種	車 名	車 両 番 号	登録年月日	ポンプ性能	排気量	定 員	総重量	長 さ	幅	高 さ	備 考
					(ℓ/分)	(cc)	(人)	(kg)	(cm)	(cm)	(cm)	
水槽付消防ポンプ自動車	日 野	署 タ ン ク 車	鹿児島831 ふ 119	H23.2	A-2吉谷	6,400	6	10,120	735	227	290	ディーゼル車 石油交付金事業
水槽付消防ポンプ自動車	日 野	いちきタンク車	鹿児島88 す 4843	H6.7.15	A-1吉谷	7,410	6	7,940	683	222	270	ディーゼル車 寄贈車
消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	い な ず ま 号	鹿児島88 す 7312	H8.12.26	A-2日本造機 2,310	4,560	6	4,140	529	188	241	ディーゼル車
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	銀 河 号	鹿児島800 さ 9964	H19.3.23	A-2森田	4,000	6	5,370	575	189	280	ディーゼル車 石油交付金事業
梯子付消防自動車	日 野	は し ご 車	鹿児島88 ゆ 754	H2.10.16		7,410	6	12,660	995	249	340	ディーゼル車
化 学 消 防 自 動 車	三 菱	化 学 車	鹿児島88 ゆ 1343	H4.12.18	A-2日機 1,600	16,030	7	14,925	830	249	296	ディーゼル車
救 助 工 作 車	三 菱	救 助 工 作 車	鹿児島800 は 1305	H23.2		7,540	6	8,150	768	221	334	ディーゼル車
指 揮 広 報 車	ニッサン	さ の さ 号	鹿児島88 に 3465	H9.10.28		1,990	8	1,980	435	169	199	ガソリン車 寄贈車
高 規 格 救 急 車	ニッサン	救 急 1 号 車	鹿児島800 す 3733	H24.2.20		3,490	7	3,245	564	190	253	ハイオク車 石油交付金事業
高 規 格 救 急 車	トヨタ	救 急 2 号 車	鹿児島800 す 4477	H25.1.15		2,690	7	3,205	562	189	249	ガソリン車 石油交付金事業
高 規 格 救 急 車	ニッサン	救急いちき1号車	鹿児島800 さ 9643	H18.12.14		3,490	7	3,275	575	190	246	ハイオク車 石油交付金事業
運 搬 車	ホ ン ダ	運 搬 車	鹿児島80 あ 1331	H13.3.29		650	2	1,440	339	147	193	ガソリン車 原子力防災資機材
軽 積 載 車	ニッサン	防 災 活 動 車	鹿児島880 あ 743	H22.1.28		650	2(4)	1460	339	147	195	ガソリン車 寄贈車
軽 積 載 車	三 菱	いちきミニ車	鹿児島80 あ 1277	H12.9.13	B-3小型動力 ポンプを積載	650	2	1150	339	147	197	ガソリン車

2 消防機械器具及び水利状況

(2) 消防団の消防車両及び小型ポンプの状況 ア 串木野地域

(H25. 4. 1現在)

分団名	種 別	車 種	車 名	車 両 番 号	登 録 年 月 日	ポ ン プ 性 能	排 気 量	定 員	総 重 量	長 さ	幅	高 さ	備 考
						(ℓ/分)	(cc)	(人)	(kg)	(cm)	(cm)	(cm)	
団本部	指 揮 連 絡 車	ト ヨ タ	団 本 部 車	鹿児島88 す 6457	H8.3.18		2,180	8	2,060	469	169	210	ディーゼル車
	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	ト ヨ タ	や ま び こ	鹿児島88 す 4133	H5.10.5		2, 440	8	2,880	474	169	244	ディーゼル車
	小 型 動 力 ポ ン プ				H10.12.14	B-3(ラビ`ット) 1,440	635						
中央	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	た つ ま き 号	鹿児島800 さ 8954	H18. 3. 20	A-2 モ リ タ	4, 001	10	4, 530	571	188	246	ディーゼル車 石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	い す ず	す い せ い 号	鹿児島88 す 3250	H4. 8. 26		2, 490	8	2, 540	445	172	250	ディーゼル車 防災用交付車両
	小 型 動 力 ポ ン プ				H19. 11. 30	B-3 ト ー ハ ヅ 1, 130	526						石油交付金事業
本浦	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	あ さ か ぜ 号	鹿児島88 す 3357	H4. 10. 13	A-2 日 機 2, 310	4, 210	10	4, 070	522	189	245	ディーゼル車
	小 型 動 力 ポ ン プ				H17. 3. 17	B-3(ラビ`ット) 1, 400	635						石油交付金事業
照島	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	照 月 号	鹿児島800 さ 8956	H18. 3. 20	A-2 モ リ タ	4, 001	10	4, 530	567	188	246	ディーゼル車 石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	ト ヨ タ	く ろ せ 号	鹿児島88 す 5286	H6. 12. 16		1, 990	9	2, 665	499	167	250	ガソリン車
	小 型 動 力 ポ ン プ				H17. 3. 17	B-3(ラビ`ット) 1, 400	635						石油交付金事業
羽島	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	さ ち か ぜ 号	鹿児島88 す 2885	H4. 3. 17	A-2 日 機 2, 300	4, 210	10	4, 140	525	189	250	ディーゼル車
	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	三 菱	積 載 車	鹿児島800 さ 2254	H12. 10. 25		1, 990	9	2, 735	499	169	242	ガソリン車 石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ				H12. 10. 25	B-3 ト ー ハ ヅ 1, 420	617						石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	ニ ッ サ ン	あ こ う 号	鹿児島800 す 745	H20. 2. 20		1, 990	9	2, 975	497	178	232	ガソリン車 石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ				H20. 2. 20	B-3 ト ー ハ ヅ 1, 130	526						石油交付金事業
荒川	小型ポンプ搭載消防自動車	ト ヨ タ	荒 星 号	鹿児島800 す 4427	H24. 12. 18	B-2 ト ー ハ ヅ 1, 000	4, 000	8	3, 740	511	169	266	ディーゼル車 石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ				H13. 12. 18	B-3(シハ`ウラ) 1, 440	618						石油交付金事業
旭	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ト ヨ タ	こ が ね 号	鹿児島800 す 2272	H22. 3. 4	A-2 日 機	4, 000	10	4, 500	573	188	242	ディーゼル車 石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ				H13. 12. 18	B-3(シハ`ウラ) 1, 440	618						石油交付金事業
生福	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	生 龍 号	鹿児島88 す 7166	H8. 11. 22	A-2 日 機 2, 370	4, 560	10	4, 220	524	189	241	ディーゼル車
	小 型 動 力 ポ ン プ				H17. 3. 17	B-3(ラビ`ット) 1, 400	635						石油交付金事業
冠岳	小型ポンプ搭載消防自動車	ト ヨ タ	や ま び こ 号	鹿児島800 す 4428	H24. 12. 18	B-2 ト ー ハ ヅ 1, 000	4, 000	10	4, 270	561	188	268	ディーゼル車 石油交付金事業
	小 型 動 力 ポ ン プ				H13. 12. 18	B-3(シハ`ウラ) 1, 440	618						石油交付金事業

イ 市来地域

(H25.4.1現在)

分団名	種 別	車 種	車 名	車両番号	登録年月日	ポンプ性能 (ℓ/分)	排気量 (cc)	定 員 (人)	総 重 量 (kg)	長さ (cm)	幅 (cm)	高 さ (cm)	備 考
湊	消防ポンプ自動車	いすゞ	飛 竜	鹿児島88 す 8413	H 9.11.28	A-2 森田	4,570	7	3,945	549	190	247	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H17.3.3	B-3(ト-ハツ) 1420	617						石油交付金事業
川南	消防ポンプ自動車	日 野	蒼 竜	鹿児島800 す 779	H20.2.28	A-2 GMVいちはら	4,000	10	4,560	572	188	256	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				H15.10.10	B-3(ト-ハツ) 1,440	617						石油交付金事業
川北	消防ポンプ自動車	いすゞ	海 竜	鹿児島88 す 8414	H 9.11.28	A-2 森田	4,570	7	3,945	549	190	247	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H17.3.3	B-3(ト-ハツ) 1420	617						石油交付金事業
川上	消防ポンプ自動車	日 野	昇 竜	鹿児島800 す 1382	H21.1.16	A-2 吉谷	4,000	10	4,730	588	188	252	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				H15.10.10	B-3(ト-ハツ) 1,440	617						石油交付金事業

(3) 署・各分団ポンプ及びホースの保有状況

(H25.4.1現在)

区分 署・団	ポンプ台数		ホース本数			
	ポンプ車	小型ポンプ	40mm	50mm	65mm	小計
消防署	3		30	116	85	231
分遣所	1	1	10	45	59	114
団本部		1			57	57
中央	1	1	2	16	61	79
本浦	1	1	2	24	56	82
照島	1	1	2	26	65	93
羽島	1	1	7	17	67	91
羽島 (土川班)		1				
荒川		2	2	12	58	72
旭	1	1	2	24	64	90
生福	1	1	2	21	42	65
冠岳		2	2	16	46	64
湊	1	1			67	67
川南	1	1			66	66
川北	1	1			53	53
川上	1	1			60	60
合計	14	17	61	317	906	1284

(4) 消防資機材の保有状況

(H25.4.1 現在)

車両等別 種 別	署 タ ン ク 車	い な ず ま 号	銀 河 号	は し ご 車	化 学 車	救 助 工 作 車	資 材 庫 他	い ち き 分 遣 所	合 計	車両等別 種 別	署 タ ン ク 車	い な ず ま 号	銀 河 号	は し ご 車	化 学 車	救 助 工 作 車	資 材 庫 他	い ち き 分 遣 所	合 計
かぎ付はしご	1					1	3	1	6	ハンマードリル						1			1
三連はしご(二連)	1	(1)	(1)			1	1(1)	1	4(3)	送 排 風 機						1			1
金属製折畳みはしご		1						1	2	ジェットシューター	3							5	8
空気式救助マット							2		2	造 林 が ま	3	5	4			1		2	15
救命索発射銃						1	1		2	ス ト ラ イ カ ー						1			1
サバイバースリング						1	1		2	帯電衣(上・下)				2					2
救助用縛帯				2		1	1	1	5	帯 電 長 靴				2				2	4
平 担 架							4		4	帯電ヘルメット				2					2
ポ ー ト パ ワ ー							2		2	車載固定型発電機						1			1
可搬式ウインチ						1	2	1	4	車載伸縮式照明装置	1					1			2
エンジンカッター	1					1	1	2	5	車載固定型ウインチ						1			1
ガ ス 溶 断 器						1			1	発 電 機	1			1	1	1	4	2	10
チェ ー ン ソ ー						1	10	2	13	投 光 器	1			2	1	1	2	2	9
鉄 線 カ ッ タ ー	2		1	1		1		1	6	掛 矢	2	2	1			1	3	1	10
万能斧(ベンケイ)						2	2	1	5	斧		1		1	1		6	1	10
ハ ン マ ー				1	1	1	1	1	5	分岐金具(65×65)	2	1	1	1	1			2	8
可燃性ガス・酸素測定器						2		1	3	分岐金具(65×50)	1								1
空 気 呼 吸 器	5		3	4	3	4	8	7	34	分岐金具(65×40)	1		1						2
帯 電 手 袋				2		2	3	1	8	分岐金具(50×40)	1								1
安 全 帯				3		3	7	2	15	放 水 銃								1	1
耐 熱 服					4				4	プロジェクトガン(40m/m用)	2		3					1	6
潜水資器材一式		7							7	ロータリーノズル							1	1	2
救 命 胴 衣		7				3	10	3	23	ピックアップノズル(2000型)					1		2	2	5
救 命 浮 環		5					3	2	10	エアフォームノズル(4000型)					4				4
バスケット担架	1					2	1	1	5	泡放水銃(8000型)					2				2
携 帯 拡 声 器	3		1	1		1	7	2	15	ラインプロポーションナー					1		1	1	3
マット型空気ジャッキ一式						1			1	ノズル付高圧ホース (30m)					2				2
大型油圧スプレッダー						1		1	2	東消式簡易発泡器					1		1	1	3
大型油圧切断機						1		1	2	ウォーターチャージャー	1								1
鉄筋カッター(コードレス)						1			1	オイルフェンス(A型)140m							1		1
空 気 鋸						1		1	2	水 中 無 線 機		1							1
大型油圧器具 (プランジャラム)						1			1	防 毒 マ ス ク							6		6
野営宿泊用テント一式							1		1	レ シ プ ロ ソ ー						1	1	1	3
SKED						1		1	2										

(5) 消火薬剤等の保有状況

(H25. 4. 1 現在)

合成界面活性剤（プロフォーム）		800 ℓ
フオレックスパン S		140 ℓ
たんぱく泡（エアフォーム3%・6%）		2, 200 ℓ
油 吸 着	吸 着 マ ッ ト	480 枚
吸 収 材 等	吸 着 （ 収 ） 材	45 kg
流 出 油 処 理 剤		90 ℓ
オイルフェンス（S0-200E）		140 m

(6) 原子力防災資機材の保有状況

(H25. 4. 1 現在)

空 気 呼 吸 器 （ 予 備 ボ ン ベ 付 ）		2 6 基
ポ ケ ッ ト 線 量 計	ア ラ ー ム 機 能 な し	2 0 個
	ア ラ ー ム 機 能 あ り	8 5 個
防 護 マ ス ク		2 6 0 個（フィルター612個）
防 護 服	ア ノ ラ ッ ク 型	3 5 0 着
	タ イ ベ ッ ク 型	3 5 0 着
防 護 靴	オ ー バ ー シ ュ ー ズ	3 6 0 足
防 護 手 袋	ゴ ム 製	2 6 0 双
	綿 製	2 6 0 双
携 帯 用 拡 声 器		5 基
消 防 用 無 線 機	車 載 型 1 0 W	9 基
	携 帯 型 5 W	6 基
ト ラ ン シ ー バ ー		2 4 基
サ ー ベ イ メ ー タ （ ポ ケ ッ ト 型 含 む 。 ）		8 基
夜 間 災 害 用 発 電 機 一 式		5 組
資 機 材 運 搬 用 車 両		1 台
パ ソ コ ン		2 台
レ ー ザ ー プ リ ン タ ー		1 台
脚 付 き 両 開 き ボ ー ド		1 台
マ ル チ プ ロ ジ ェ ク タ		1 台
エ ア ー テ ン ト		1 式
化 学 防 護 服		5 着
衛 星 携 帯 電 話		1 基
簡 易 放 送 用 設 備		1 式
空 気 呼 吸 器 拡 声 器 （ 充 電 器 含 む 。 ）		6 基
デ ジ タ ル カ メ ラ		3 基
ワ イ ヤ レ ス メ ガ ホ ン		1 式
エ ア ー 膨 張 式 投 光 装 置		1 式
空 気 ボ ン ベ 用 空 気 圧 縮 機		1 基

(7) 消防水利の状況 (消防水利の基準に適合しないものも含む。)

ア 串木野地域

(H25.4.1現在)

水利の別		地区別	中 央	本 浦	照 島	羽 島	荒 川	旭	生 福	冠 岳	合 計
消 火 栓 (公 設)	350mm		1		1						2
	300mm		7		2						9
	250mm		7	1	2						10
	200mm		8	9	4	1				4	26
	150mm		39	18	20	8	4		6	3	98
	100mm		57	9	21	11	3	4	15	2	122
	75mm		25	7	13	18	5	11	5	3	87
小 計 A			144	44	63	38	12	15	26	12	354
防 火 水 槽 (公 設)	40m ³ 以上		16	4	16	7	6	3	9	5	66
	30m ³ 以上 40m ³ 未満		43	6	18	17	6	10	14	6	120
	20m ³ 以上 30m ³ 未満		2	1	3	1		2		3	12
	20m ³ 未満		5	1		2					8
	(私 設)	40m ³ 以上	1		1						2
小 計 B			67	12	38	27	12	15	23	14	208
プー	40 m ³ 以 上		3		3	2	1	1	1	1	12
河 川	常時取水可能		7	1	3	2	3	1	4	2	23
海 水	常時取水可能			4	1	1					6
小 計 C			10	5	7	5	4	2	5	3	41
総 計 A + B + C			221	61	108	70	28	32	54	29	603

イ 市来地域

(H25.4.1現在)

水利の別 地区別 配管及び水量		湊	川南	川北	川上	合計
消火栓 (公設)	200mm	14				14
	150mm	6	8	5		19
	125mm	1				1
	100mm	21	13	19	10	63
	75mm	19	14	11	15	59
	65mm以下	3	5	14	8	30
小計 A		64	40	49	33	186
防火水槽 (公設)	40m ³ 以上	22	15	19	21	77
	30m ³ 以上	1	1	1		3
	40m ³ 未満					
	20m ³ 以上			5		5
	30m ³ 未満					
(私設)	20m ³ 未満					
	40m ³ 以上			2		2
小計 B		23	16	27	21	87
プール	40 m ³ 以上	1	2		1	4
河川	常時取水可能	5		3	2	10
海水	常時取水可能					
小計 C		6	2	3	3	14
総計 A+B+C		93	58	79	57	287

(8)消防無線の状況

ア 消防本部

(H 2 5 . 4 . 1 現在)

局 別	数	形式	電力	周 波 数	呼 称	設 置 場 所	購入年月	経過年数	会 社 名	再免年月	備 考
基 地 局	2		10W	① 市波 149.15MHz ② 県波 148.21MHz	消串	消防本部	H 6 . 7	18年	日本無線	H28. 5	
			1W	① 市波	消小ヶ倉	羽島小ヶ倉	H 8 . 1	17年	日本無線	H28. 5	
固 定 局	2		2W	○ 中継波 365.15MHz	消串本部	消防本部	H 8 . 1	17年	日本無線	H29. 11	
					消小ヶ倉	羽島小ヶ倉	H 8 . 1	17年	日本無線	H29. 11	
移動局 (車載)	15		10W	① 市波	消串6	化学車	H 6 . 12	18年	日本無線	H28. 5	
				② 県波	消串9	積載車	H元. 2	24年	日本無線	H28. 5	
				① 市波 ② 県波	消串1	署タンク車	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消串2	いなづま号	H11. 2	14年	日本無線	H28. 5	貸与品 (県)原子 力防災資 器材
					消串3	銀河号	H11. 11	13年	日本無線	H28. 5	
					消串4	さのさ号	H 8 . 3	17年	日本無線	H28. 5	
				③ 全国波1 150.73MHz	消串5	はしご車	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
				④ 防災波 158.35MHz	消串7	救助工作車	H11. 11	13年	日本無線	H28. 5	貸与品 (県)原子 力防災資 器材
					消串8	防災活動車	H11. 11	13年	日本無線	H28. 5	
					救串2	救急2号車	H 8 . 3	17年	日本無線	H28. 5	
				①市波 ②県波	消串10	運搬車	H14. 3	11年	NEC	H28. 5	
				③全国波1、2、3 ④防災波	救串1	救急1号車	H12. 11	12年	日本無線	H28. 5	
				①市波 ②県波	消い1	いちき タンク車	H6. 7	18年	ゼネラル通信 システム	H27. 5	
				③全国波1、2、3	消い2	いちき ミニ車	H12. 10	12年	ゼネラル通信 システム	H27. 5	
					救い1	いちき 救急車	H18. 12	6年	日本無線	H28. 5	
移動局 (携帯)	22	F 3	1W	① 市波 ② 県波	消串12	いなづま号	H8. 10	16年	日本無線	H28. 5	
			5W	① 市波 ② 県波 ③ 全国波1 ④ 防災波	消串11	署タンク車	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消串13	銀河号	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消串14	さのさ号	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消串15	はしご車	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消串16	化学車	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消串17	救助工作車	H18. 2	7年	スタンダード	H28. 5	貸与品 (県)原子 力防災資 器材
					消串18	救急1号車	H18. 2	7年	スタンダード	H28. 5	
					消串19	通信室	H18. 2	7年	スタンダード	H28. 5	
					消串20	救急2号車	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消串21	署タンク車	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消串22	いなづま号	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消串23	銀河号	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消串24	さのさ号	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消串25	救急2号車	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消串26	通信室	H18. 2	7年	スタンダード	H28. 5	貸与品 (県)原子 力防災資 器材
					消串27	救助工作車	H17. 1	8年	アイコム	H28. 5	
					消串28	通信室	H17. 1	8年	アイコム	H28. 5	
					消串29	いちき タンク車	H17. 12	7年	アイコム	H28. 5	
					消串30	いちき タンク車	H17. 12	7年	アイコム	H28. 5	
					消串31	いちき タンク車	H17. 12	7年	アイコム	H28. 5	
					消串32	いちき 救急車	H17. 12	7年	アイコム	H28. 5	

イ 消防団

(H25. 4. 1現在)

局 別	数	形式	電力	周 波 数	呼 称	設 置 場 所	購 入 年 月	経 過 年 数	会 社 名	再 免 年 月	備 考
移動局 (車載)	17	F3	10W	①市波 ②県波	消中 3	中央分団 すいせい号	H9. 3	16年	日本無線	H28. 5	
					消照 3	照島分団 くろせ号	H10. 2	15年	日本無線	H28. 5	
					消羽 1	羽島分団 さちかぜ号	H10. 2	15年	日本無線	H28. 5	
					消土 1	羽島分団 あこう号	H8. 1	17年	日本無線	H28. 5	
				①県波 ②市波 ③全国波 (1・2・3波)	消中 1	中央分団 たつまき号	H18. 3	7年	ゼネラル通信 システム	H28. 5	
					消照 1	照島分団 照月号	H18. 3	7年	ゼネラル通信 システム	H28. 5	
				①市波 ②県波 ③全国波 (1・2・3) ④防災波	消団 1	団本部車	H14. 3	11年	NEC	H28. 5	貸与品(県) 原子力防災 資器材
					消旭 1	旭 分団 こがね号	H14. 3	11年	NEC	H28. 5	
					消湊 1	湊分団 飛竜	H17. 10	7年	日本無線	H28. 5	
					消川南 1	川南分団 蒼竜	H17. 10	7年	日本無線	H28. 5	
					消川北 1	川北分団 海竜	H17. 10	7年	日本無線	H28. 5	
					消川上 1	川上分団 昇竜	H17. 10	7年	日本無線	H28. 5	
					消市来 支所 1	団本部 やまびこ	H17. 10	7年	日本無線	H28. 5	
				①市波 ②県波 ③全国波 ④防災波	消本 1	本浦分団 あさかぜ号	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消荒 1	荒川分団 荒星号	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消生 1	生福分団 生龍号	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消冠 1	冠岳分団 やまびこ号	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
移動局 (携帯)	18	F3	5W	①市波 ②県波 ③全国波 ④防災波	消団 2	団本部	H16. 6	8年	アイコム	H28. 5	
					消団 3	団本部	H16. 6	8年	アイコム	H28. 5	
					消羽 2	羽島分団	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消荒 2	荒川分団	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消旭 2	旭 分団	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消生 2	生福分団	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
					消冠 2	冠岳分団	H19. 2	6年	アイコム	H28. 5	
				①市波 ②県波 ③全国波 (1・2・3) ④防災波	消団 4	団本部	H14. 6	10年	モトローラ	H28. 5	
					消団 5	団本部	H17. 10	7年	日本無線	H28. 5	
					消団 6	団本部	H17. 10	7年	日本無線	H28. 5	
					消中 2	中央分団	H14. 6	10年	モトローラ	H28. 5	
					消本 2	本浦分団	H14. 6	10年	モトローラ	H28. 5	
					消照 2	照島分団	H14. 6	10年	モトローラ	H28. 5	
					消湊 2	湊分団	H17. 10	7年	日本無線	H28. 5	
					消川南 2	川南分団	H17. 10	7年	日本無線	H28. 5	
					消川北 2	川北分団	H17. 10	7年	日本無線	H28. 5	
					消川上 2	川上分団	H17. 10	7年	日本無線	H28. 5	
					消市来 支所 2	団本部	H17. 10	7年	日本無線	H28. 5	

1 気象観測の状況

(H 2 4 年中)

【観測所：消防署】

月 区 分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
快晴日数		0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
晴天日数		15	7	16	18	18	8	16	18	21	25	12	10	184
曇天日数		12	14	8	7	8	11	12	11	7	3	13	16	122
雨天日数		4	5	7	3	5	11	3	2	2	3	5	5	55
雪日数		0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
降水日数		7	13	15	10	6	19	16	14	13	4	11	14	142
降水量		64.5	126.0	185.5	164.0	62.0	625.5	319.5	258.0	163.0	41.5	139.0	162.5	2311
最大日降水量		22.0	29.5	38.0	56.0	22.0	151.0	65.5	62.5	50.0	21.5	44.0	43.5	最大/日 151
風速	平均	2.4	3.1	3.4	3.8	2.4	2.6	2.8	3.3	2.5	2.5	3.3	3.3	年平均 3
	瞬間最大	20.0	22.4	25.3	25.9	17.8	23.0	19.6	24.4	15.0	21.5	23.3	23.2	最大/年 26
気温	平均	7.3	8.4	12.3	16.2	20.2	23.2	27.0	28.4	24.6	20.3	14.0	9.4	年平均 18
	最高	17.2	20.4	21.0	24.9	29.1	30.8	34.5	34.5	31.3	29.7	21.6	20.4	最高/年 35
	最低	-0.9	-3.1	2.1	5.3	14.4	17.4	20.3	22.1	15.7	10.0	3.4	1.0	最低/年 -3
相対湿度	平均	67.3	72.2	71.9	72.2	79.1	88.7	89.5	82.4	82.3	70.8	70.7	71.9	年平均 77
	最高	99.1	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	最高/年 100
	最低	26.7	32.9	15.2	1.8	26.8	52.2	1.9	51.0	43.0	29.5	35.8	27.4	最低/年 2
実効湿度	平均	67.6	71.4	72.4	71.6	79.3	88.2	90.1	82.1	82.3	71.2	70.3	72.0	年平均 77
	最高	89.5	92.8	94.5	88.7	94.0	98.1	98.9	92.9	93.8	84.4	88.8	91.6	最高/年 99
	最低	41.4	44.4	47.0	44.2	62.8	70.8	67.8	67.8	61.1	54.4	58.1	56.0	最低/年 41
現地気圧	平均	1019.4	1017.5	1016.0	1012.9	1008.7	1004.7	1006.7	1007.0	1010.3	1013.5	1015.7	1018.6	年平均 1013
	最高	1030.6	1027.5	1026.2	1024.4	1017.6	1013.7	1014.0	1012.7	1017.4	1022.8	1025.9	1029.3	最高/年 1031
	最低	1008.5	1003.3	1003.6	999.7	995.5	990.8	999.9	994.5	991.6	1002.5	1005.4	1004.4	最低/年 991

備 考

天候の記録は、午前9時現在の観測である。
降水日数は、降水量が0.5mm以上あった日数である。

2 風向の状況

(H 2 4 年中)

月 風 向	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年 平 均
北北東 (NNE)	6.5	6.9	22.6	3.3	6.5	3.3	0.0	6.5	3.3	9.7	10.0	16.1	7.9
北 東 (NE)	25.8	17.2	16.1	33.3	48.4	36.7	0.0	38.7	0.0	51.6	36.7	12.9	26.5
東北東 (ENE)	0.0	13.8	3.2	13.3	6.5	23.3	9.7	32.3	0.0	3.2	0.0	0.0	8.8
東 (E)	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	3.3	0.0	6.5	3.3	0.0	3.3	6.5	2.5
東南東 (ESE)	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	6.5	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	2.2
南 東 (SE)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	6.5	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
南南東 (SSE)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
南 (S)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	12.9	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
南南西 (SSW)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
南 西 (SW)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	6.5	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	1.9
西南西 (WSW)	0.0	0.0	3.2	6.7	3.2	0.0	12.9	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	3.3
西 (W)	0.0	0.0	6.5	10.0	22.6	13.3	19.4	3.2	26.7	0.0	3.3	0.0	8.8
西北西 (WNW)	0.0	0.0	16.1	20.0	6.5	0.0	9.7	0.0	3.3	0.0	10.0	9.7	6.3
北 西 (NW)	3.2	17.2	6.5	3.3	0.0	0.0	3.2	0.0	3.3	9.7	23.3	19.4	7.4
北北西 (NNW)	19.4	27.6	16.1	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	6.7	22.6	10.0	9.7	9.6
北 (N)	45.2	17.2	3.2	3.3	3.2	0.0	0.0	0.0	13.3	3.2	3.3	25.8	9.8

※ 風向頻度 (%) を示す。

3 各地の降水量 (防災テレメーター観測値)

(H 2 4 年中)

観測所 月	冠 岳	生 福	旭	荒 川	羽島支所	土 川	市来庁舎	消 防 署
1	67.0	76.0	82.0	77.0	64.0	63.0	63.5	64.5
2	86.0	144.0	190.0	162.0	171.0	182.0	100.0	126.0
3	152.0	211.0	215.0	197.0	180.0	171.0	160.0	185.5
4	139.0	196.0	195.0	185.0	183.0	159.0	184.5	164.0
5	59.0	79.0	92.0	98.0	79.0	79.0	34.5	62.0
6	581.0	690.0	704.0	718.0	646.0	627.0	645.5	625.5
7	393.0	412.0	440.0	365.0	326.0	297.0	309.0	319.5
8	271.0	298.0	266.0	282.0	224.0	199.0	244.0	258.0
9	143.0	183.0	186.0	179.0	186.0	181.0	162.5	163.0
10	40.0	44.0	47.0	64.0	70.0	76.0	42.5	41.5
11	114.0	139.0	155.0	160.0	170.0	156.0	125.5	139.0
12	130.0	177.0	184.0	176.0	162.0	140.0	140.0	162.5
合計	2,175.0	2,649.0	2,756.0	2,663.0	2,461.0	2,330.0	2,211.5	2,311.0

**火 事 と 救 急 は
1 1 9 番**

いちき串木野市消防本部

鹿児島県いちき串木野市昭和通 133-1

〒896-8601 電 話 0996 (32) 0 1 1 9

F A X 0996 (32) 4 3 9 6